

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画		
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める			
	1 目	一般管理費		(1)	透明性の高い行政を推進する			
実施計画掲載ページ		P11	中 事 業	広聴事業関係費				
事業コード		001-002-001-00005	事 業 名	広聴事業				
目的及び事業内容		より良いまちづくりをめざし、市民からの御意見・御提案を市政に反映するため、市政提案・苦情等意見の受付、陳情・要望受付、パブリックコメント、市政教室、まちづくり懇談会等の広聴事業を実施する。						
取 組 実 績		1 市政提案・・・・・・・・45件 2 苦情等・・・・・・・・19件 3 陳情・要望・・・・・・・・44件 復興政策部8件、総務部5件、財務部1件、復興事業部1件、健康部3件、福祉部2件、産業部11件、建設部3件、病院局1件、教育委員会2件、河北総合支所2件、雄勝総合支所1件、桃生総合支所1件、北上総合支所2件、牡鹿総合支所1件 4 パブリックコメント・・8件の計画等に対する意見募集 (1) 石巻市環境基本計画(案) (2) 石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案) (3) 中瀬公園基本計画(案) (4) 石巻市過疎地域自立促進計画(案) (5) 石巻市総合交通戦略(案) (6) 石巻市一般廃棄物処理基本計画(案) (7) 石巻市複合文化施設整備基本計画(案) (8) 石巻市公共施設等総合管理計画(案) 5 市政教室・・・・・・6回実施、参加人数94人 見学先：魚市場、三陸道工事現場、みなと荘、復興まちづくり情報交流館中央館等 6 まちづくり懇談会・・・4回実施、102名出席						
成 果		市政提案・苦情等については、市の考え方、対応方法について直接市民へ回答し、理解を得るよう努めた。 陳情要望等については、市長が直接考え方を伝えることなどにより、市民が市政をより身近なものに感じ、市政への関心を高めることができた。 パブリックコメントでは、8件中7件の案件で計136項目の貴重な御意見・御提言をいただき、各計画策定の参考とした。 市政教室においては、市民が復興状況や市の新たな施設等を見学することにより、市政への理解を高めることができた。 まちづくり懇談会においては、市長等と意見交換を行い、市政への理解を深めることができた。						
成果に係る評価		広く市民の意見を聴くための広聴事業は、市民ニーズを把握し、市民の声を市政に反映させ、市と市民の信頼関係を構築する上で重要なツールとなることから、今後も継続して実施する必要がある。 特に、「まちづくり懇談会」については、市長が各地区に出向き直接市民から意見を聴くことができることから重点的に実施する必要があるため、これまで以上に周知を図り積極的に開催していく。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	96,000		49,519					49,519

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()																	
	1 項	総務管理費		第 節		()																	
	1 目	一般管理費		()		()																	
実施計画掲載ページ			中 事 業	功労者表彰・礼遇者関係費																			
事業コード			事 業 名	市政功労者表彰事業																			
目的及び事業内容		市の行政、経済、文化、社会その他各般にわたって市政の振興に寄与し、または市民の模範と認められる善行があった個人・団体を表彰し、その功績を讃える。 ・市政功労表彰候補者の推薦依頼 ・推薦委員会及び審査委員会の開催 ・表彰式の開催																					
取組実績		<p>1 市政功労表彰候補者の推薦依頼 市報・ホームページによる市民への周知及び各課への通知により、市政の発展に功績のある方の推薦を依頼し、114名・1団体の推薦があった。</p> <p>2 推薦委員会及び審査委員会の開催 市政功労表彰候補者として推薦された方々を、市民の方で構成する推薦委員会及び部長等の市職員で構成する審査委員会で審査し、92名・1団体の市政功労者が決定された。</p> <p>3 表彰式の開催 (1) 市政功労者として決定された方々に表彰状及び記念品を授与するため、表彰式を開催した。 日 時：平成27年11月15日(日) 午後2時から 場 所：遊楽館 かなんホール 出席者数：52名・1団体 (2) 表彰式及び受賞者を、市報・地元新聞で周知した。</p>																					
成 果		<p>市政のために尽力した方々を表彰し、その功績を讃え、広く市民に知らせることにより、受賞者のさらなる活躍が期待できるとともに、市民の市政への参加意識の高揚に寄与することができた。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>年度別取組実績</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>市政功労者推薦者数</td> <td>153名</td> <td>124名</td> <td>115名</td> </tr> <tr> <td>市政功労者決定者数</td> <td>117名 (76.5%)</td> <td>88名 (71.0%)</td> <td>93名 (80.9%)</td> </tr> <tr> <td>表彰式出席者数</td> <td>77名 (65.8%)</td> <td>55名 (62.5%)</td> <td>53名 (57.0%)</td> </tr> </table>						年度別取組実績	H25	H26	H27	市政功労者推薦者数	153名	124名	115名	市政功労者決定者数	117名 (76.5%)	88名 (71.0%)	93名 (80.9%)	表彰式出席者数	77名 (65.8%)	55名 (62.5%)	53名 (57.0%)
年度別取組実績	H25	H26	H27																				
市政功労者推薦者数	153名	124名	115名																				
市政功労者決定者数	117名 (76.5%)	88名 (71.0%)	93名 (80.9%)																				
表彰式出席者数	77名 (65.8%)	55名 (62.5%)	53名 (57.0%)																				
成果に係る評価		市政のために尽力した者を積極的に掘り起こし、その功績を讃えることにより、市政の振興や経済、文化、治安等の向上に寄与することから、今後も継続して実施する必要がある。																					
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	880,000	422,995				422,995																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()																																																															
	1 項	総務管理費		第 節		()																																																															
	1 目	一般管理費		()		()																																																															
実施計画掲載ページ			中 事 業	情報公開推進費																																																																	
事業コード			事 業 名	情報公開・個人情報保護事業																																																																	
目的及び事業内容		1 情報公開 市民の市政について知る権利を保障するとともに、情報の一層の公開を図る。 2 個人情報保護 本市の保有する個人情報の開示、訂正及び利用停止を求める権利を明らかにするとともに、個人情報の適正な取扱いを確保する。																																																																			
取組実績		<p>1 開示請求の決定状況</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="2">開示請求件数</td> <td colspan="6">請求に対する決定等</td> <td rowspan="2">取下</td> </tr> <tr> <td>開示</td> <td>一部開示</td> <td>開示拒否</td> <td>不存在</td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>情報公開</td> <td>169件</td> <td>92件</td> <td>59件</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>9件</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>個人情報</td> <td>30件</td> <td>16件</td> <td>6件</td> <td>0件</td> <td>4件</td> <td>4件</td> <td>0件</td> </tr> </table> <p>2 不服申立ての状況</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="2">不服申立件数</td> <td rowspan="2">取下</td> <td rowspan="2">諮問</td> <td rowspan="2">答申</td> <td colspan="3">不服申立てに対する決定</td> <td>次年度</td> </tr> <tr> <td>認容</td> <td>一部認容</td> <td>棄却</td> <td>却下</td> <td>繰越し</td> </tr> <tr> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </table> <p>3 情報公開・個人情報保護審査会の開催状況 平成27年度においては、不服申立て等の諮問案件に係る会議の開催はなかったが、マイナンバー法の制定及び行政不服審査法の改正に伴う、特定個人情報の取扱いや不服申立制度の見直しを行うに当たり、本市の対応方針、条例改正等について意見を聴くため、審査会を2回開催した。</p> <p>4 情報公開コーナーの利用状況</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="2">利用件数</td> <td colspan="3">利用件数の内訳</td> </tr> <tr> <td>行政資料等の閲覧</td> <td>（うち行政資料等の複写）</td> <td>その他相談等</td> </tr> <tr> <td>317件</td> <td>183件</td> <td>(88件)</td> <td>134件</td> </tr> </table>						開示請求件数	請求に対する決定等						取下	開示	一部開示	開示拒否	不存在	その他		情報公開	169件	92件	59件	0件	2件	9件	7件	個人情報	30件	16件	6件	0件	4件	4件	0件	不服申立件数	取下	諮問	答申	不服申立てに対する決定			次年度	認容	一部認容	棄却	却下	繰越し	1件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	利用件数	利用件数の内訳			行政資料等の閲覧	（うち行政資料等の複写）	その他相談等	317件	183件	(88件)	134件
開示請求件数	請求に対する決定等						取下																																																														
	開示	一部開示	開示拒否	不存在	その他																																																																
情報公開	169件	92件	59件	0件	2件	9件	7件																																																														
個人情報	30件	16件	6件	0件	4件	4件	0件																																																														
不服申立件数	取下	諮問	答申	不服申立てに対する決定			次年度																																																														
				認容	一部認容	棄却	却下	繰越し																																																													
1件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件																																																														
利用件数	利用件数の内訳																																																																				
	行政資料等の閲覧	（うち行政資料等の複写）	その他相談等																																																																		
317件	183件	(88件)	134件																																																																		
成 果		<p>1 情報公開 公文書の開示請求については、迅速かつ適切な開示を行うとともに、情報公開制度の適正な運営に努め、情報公開の推進に取り組むことができた。請求件数は、前年度（134件）と比較すると35件増加（約26%増）の169件である。その主な増加要因は、工事関係書類（工事実施設計書等）の請求が増加したためである。 また、情報公開コーナーの利用についても、行政資料等の複写や閲覧など、市民に対する情報提供を円滑に行うことができた。</p> <p>2 個人情報保護 個人の権利利益の侵害の防止を図り、個人の人格と尊厳の尊重に寄与した。また、本人に対し個人情報の開示を行ったことで、自己情報を求める権利を保障するとともに、個人の権利利益を保護することができた。 また、マイナンバー制度の開始に伴い、特定個人情報の適切な取扱いが図られるよう個人情報保護条例の一部改正を行った。</p>																																																																			
成果に係る評価		公文書の開示請求については、請求された内容に応じ、保護される利益と公益上の必要性とを個別具体的に比較し、判例等を踏まえながら、今後も適正かつ迅速な情報公開事務に継続して努めることが重要である。また、情報の一層の公開を図るため、市民に必要な情報を積極的に提供する情報提供施策の充実を図り、情報公開を総合的に推進していく必要がある。 個人情報保護については、マイナンバー制度に対応した特定個人情報の取扱いの措置を講じるなど、個人情報の適正な管理・保護が図られた。また、今後も引き続き、個人の権利利益が侵害されることのないよう、個人情報保護条例を遵守し、情報公開・個人情報保護審査会の意見を踏まえながら、個人情報の適正な取扱いの確保に努めることが重要である。																																																																			
(単位：円)																																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																															
	2,510,000	2,060,639			232,940	1,827,699																																																															

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 4 節	安定した行財政運営を構築する		()	
	1 目	一般管理費		(1)	持続可能な行財政運営を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P 14	中 事 業	行政改革推進費				
事業コード	001-004-001-00962	事 業 名	公共施設等総合管理計画策定事業					
目的及び事業内容	道路、橋梁等のインフラを含めた全ての公共施設等の更新・統廃合・長寿命化等の取組については、施設の現状、今後の財政状況及び人口の推計等を踏まえ、長期的な視点で実施していく必要があることから、取組を計画的に進めるための方針として「公共施設等総合管理計画」を策定する。							
取 組 実 績	<p>公共施設の現状や課題等を把握し、総合的及び施設類型ごとの適正な管理を図るため石巻市公共施設等総合管理計画を策定した。</p> <p>公共施設等総合管理計画策定事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 石巻市行財政改革推進本部ワーキンググループを設置し、計画内容の検討及び作成を行った。 開催回数 平成27年度 計5回 市民の公共施設等に関する考えを把握するためアンケート調査を実施した。 対象人数 2,700人 回答数 953人 平成28年2月18日から平成28年3月10日までの期間においてパブリックコメントを実施した。 							
成 果	<p>石巻市公共施設等総合管理計画の策定により、公共施設の現状や課題等を把握することができ、総合的及び施設類型ごとの適正な管理が図られる。</p> <p>計画の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 公共施設数 666施設（平成26年度末時点） 総延床面積 817,024㎡（平成26年度末時点） 計画期間 40年間（平成28年度から平成67年度まで） 全体方針 <ul style="list-style-type: none"> ア 災害に強い公共施設づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に被害を最小限に抑える公共施設づくりを推進する。 ・災害時においても機能する公共施設づくりを推進する。 イ ハコノモ施設の全体方針 <ul style="list-style-type: none"> ・総量の縮減を進める。 ・安全の確保に努める。 ・最適配置の実現に努める。 ウ インフラ施設の全体方針 <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理費用の削減に努める。 ・安全の確保に努める。 ・計画的な新規整備を推進する。 							
成果に係る評価	本計画に掲載した取組について適正な進行管理を実施していく必要がある。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	11,072,068	10,906,920					10,906,920	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()	
	2 目	文書広報費		(1)	透明性の高い行政を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P 11	中 事 業	広報活動費				
事業コード	001-002-001-00004	事 業 名	「市報いしのまき」発行事業					
目的及び事業内容	行政情報を広く市民に周知する手段として市報を発行し、市民の市政への関心を高め、市政に対する理解と協力を得るため毎月発行する。							
取 組 実 績	<p>毎月1日号を発行し、市の行政情報、各種のお知らせ、催事、文化スポーツ行事、募集、子育て支援情報、健診のお知らせなどを掲載し、市民へ情報提供を行った。15日号と併せて多くの復興関係の情報を掲載、発信した。</p> <p>また、魅力的な紙面構成を目指し、平成27年5月1日号から、各地区の「まちの話題」を1つのページに集約し、「まちの話題」と「みんなの広場」を見開き2ページに掲載。写真が多く賑やかで、身近な地域の情報等が集約された紙面構成とした。</p> <p>〔市報発行〕 毎月1日発行、発行部数月64,000部、12ページ（うちフルカラー8ページ、白黒4ページ）</p> <p>掲載内容 ・災害復興に関するお知らせ ・市の財政状況 ・マイナンバー制度に関するお知らせ ・国勢調査に関するお知らせ ・市職員の人事行政運営等のあらまし ・各種行政情報 ・平成28年度施政方針 ・まちの話題 ・休日急患担当医 ・子育て支援情報 ・各種健診 ・文化スポーツ行事 ・各種事業の募集</p>							
成 果	市の主要な施策や取組、各種行政情報などを、図や表を用い、よりわかりやすい紙面づくりを心掛け、15日号と併せて市民への適時の情報提供を行った。							
成果に係る評価	カラーページを取り入れて以後、市民から見やすいという評価を受けている。今後も、市民が求めている情報の把握に努め、また、より分かりやすい、より読みやすい簡潔な記事となるように、原稿のさらなる精査に努める。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	21,000,000	20,995,200					20,995,200	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	ともに創る協働のまち	復興計画	()											
	1 項	総務管理費		第 2 節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()											
	6 目	企画費		(1)	透明性の高い行政を推進する		()											
実施計画掲載ページ		P 12	中 事 業	I C T 関連事業推進費（緊急経済対策分）														
事業コード	001-002-001-00947	事 業 名	オープンデータ構築推進事業【地方創生先行型】															
目的及び事業内容	本市が保有する統計データや施設位置情報等の行政情報を、二次利用を促進する利用ルールのもと、機械判読に適したデータ形式で公開し、行政の透明性・信頼性の向上を図る。さらに、民間企業や団体、大学等にデータを活用してもらうことで、地域課題の解消が期待できるアプリの開発やマーケットリサーチ、研究活動等民間の活動を活性化させ、地域の活性化につなげる。																	
取組実績	<p>平成27年2月に策定した「石巻市オープンデータの推進に関する指針」に基づき、個人情報や機密情報を除く市が保有する行政情報のうち、石巻市ホームページに掲載している情報から可能な限り積極的にオープンデータとするため、ホームページ掲載情報の調査・整理・分析を行うとともに、統計情報や石巻専修大学とも連携した地域課題の解消につながる利用価値の高い行政情報のオープンデータ化を実施した。</p> <p>1 オープンデータ化推進業務</p> <p>(1) 石巻市ホームページ掲載情報の調査・分析</p> <p>ア 多岐にわたる情報をカテゴリごとに分類・分析を実施</p> <p>イ 二次利用の促進が図られるデータ作成ツールを構築</p> <p>(2) ホームページ掲載情報をオープンデータとして公開</p> <p>ア 統計情報のオープンデータ化を実施</p> <p>イ 位置情報を付加した避難所情報のオープンデータ化を実施</p> <p>(3) 地元大学等と連携した利用価値（利用者ニーズ）の高い行政情報のオープンデータ化</p> <p>ア 石巻専修大学の研究活動と連携し、市が管理する街路灯情報のオープンデータ化を実施（宮城県警提供の犯罪発生状況と組み合わせた分析）</p> <p>イ A E D 設置情報をオープンデータとして提供し、経産省が委託した実証事業に協力</p>																	
成 果	<p>平成27年度末時点で、統計情報や避難所情報等速やかにオープンデータ化が可能な行政情報について公開し、データによってバラつきはあるものの不特定多数のユーザーから利用され、データ利用に伴うアプリ等も開発されている。また、関係機関等と連携した取組を実施したことで、地元大学や民間団体によるデータ利用が活発に行われ、人材育成や研究活動に貢献し地域の活性化が図られた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標（オープンデータ公開数）</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>200件</td> <td>204件</td> <td>102.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※参考（主なデータ利用数）</p> <p>避難所情報・・・1,458件</p> <p>人口統計情報群・・・1,273件</p> <p>ごみ出しスケジュール・・・323件</p>								区分	成果指標（オープンデータ公開数）		達成率等	目標値	実績等	H27	200件	204件	102.0%
区分	成果指標（オープンデータ公開数）		達成率等															
	目標値	実績等																
H27	200件	204件	102.0%															
成果に係る評価	公共データの二次利用促進を図り、行政の透明性・信頼性の更なる向上と地域の活性化を図るため、個人情報や機密情報を除く公開可能な行政情報のオープンデータ化を実施し、不特定多数の利用者による活発なデータ利用や地元大学、民間団体等と連携した取組により地域の活性化につながることを期待できるため、事業の継続が必要である。																	
（単位：円）																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源												
	5,800,000	5,616,000	5,616,000															

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 節			()	
	6 目	企画費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	I C T 関連事業推進費（緊急経済対策分）				
事業コード		事 業 名	地域文化情報発信事業【地方創生先行型】					
目的及び事業内容	石巻地域の地名、歴史、文化等のストーリーマンガを制作し、I C T を媒体として小中学生が地域の歴史を学ぶ機会の創出や石巻市ホームページで内外へ発信し、市民の郷土に対する愛着や誇りの醸成、「マンガ」を通じた交流人口の増加を図り、石ノ森萬画館のある中心市街地の回遊性向上を図る。							
取組実績	<p>地域住民でも「知っているようで実はあまり知られていない」石巻地域を舞台とした史実等のストーリーマンガの制作と地名に関するコラムを掲載した「マンガで知ろう 石巻史」を刊行し、市内小中学校及び市立高校、図書館等の市内公共施設及び県内外の図書館等にも配布した。</p> <p>また、本市への一定額以上のふるさと納税寄附者への返礼品として限定配布するとともに、冊子では紹介しきれない貴重な関連資料等を収録したデジタル版の製作も行いホームページからの閲覧も可能とし、市民の郷土愛の醸成及び本市の魅力を外に発信し訪問機会の創出を図った。</p> <p>1 地域文化情報発信事業</p> <p>(1) 冊子「マンガで知ろう 石巻史」の制作・刊行</p> <p>ア 制作部数：5,000冊</p> <p>(2) 冊子の公共施設等への配布による内外への魅力発信</p> <p>ア 市立小学校：各校5冊、市立中学校及び市立高校：各校3冊</p> <p>イ 市図書館等の市内公共施設及び国国会図書館、県図書館、仙台市民図書館等</p> <p>ウ 本市ふるさと納税寄附者（3万円以上）に対する返礼品として限定配布</p> <p>(3) 冊子のデジタル版の製作</p> <p>ア 石巻市ホームページからも閲覧を可能とし、より広範囲に本市の魅力を発信</p> <p>イ 関連資料の収録に当たり、拡張性のある仕組みを構築</p>							
成 果	<p>「地域の歴史」という一見理解しづらい分野を、大人から子どもまで世代に関係なく親近感を覚える「マンガ」を活用し、小中学生の地域の歴史を学ぶ授業の中でも活用できるように分かりやすい内容で構成されているため、読者から「内容が分かりやすい」等の評価を得た。また、合併前の旧市・旧町からテーマを選び東日本大震災との関連も描いている部分もあり、単に歴史の紹介に留まらない興味深い内容となっていることに加え、I C T を活用した幅広い魅力発信により市外の読者からも同様の評価が得られた。</p>							
成果に係る評価	本市への訪問機会の創出と交流人口の増加を図るため、市域を舞台にした史実等を「萬画のまち いしのまき」に相応しくストーリーマンガによる冊子やデジタル版の製作を実施し、公共施設やインターネットから閲覧できる環境整備を行うとともに、平成28年度末までふるさと納税寄附者への冊子の配布を予定している。 <p>これまでに寄せられた読者の評価から、冊子の配布やI C T を活用した幅広い情報発信により本市の魅力が内外に浸透してきており、今後も、市民の郷土愛の醸成並びに本市の魅力度の向上につながるツールとして活用していきたい。</p>							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	15,000,000	14,904,000	14,904,000					

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画																			
	1 項	総務管理費		第 節																					
	6 目	企画費		()																					
実施計画掲載ページ			中 事 業	がんばる石巻応援寄附関係費																					
事業コード			事 業 名	がんばる石巻応援寄附関係事業																					
目的及び事業内容		「ふるさと」に貢献したい。「ふるさと」を応援したい。という納税者から寄せられる寄附金を活用し、さまざまな分野でのまちづくりを推進することを目的とする。ふるさと納税寄附者に対しては、寄附金額に応じた返礼品を送付し、本市の特産品の提供を行う。																							
取組実績		<p>1 ポータルサイトへの掲載、インターネットでの申請を実施し、申込者の増加を図った。 ・インターネットでの申込み・・・約95%</p> <p>2 納付方法の割合 ・クレジット・・・78.8% ・郵便局振込・・・19.1%</p> <p>3 特産品コースの拡大 30万円、50万円、100万円コースを新設</p> <p>4 P R方法について ・ふるさと納税ポータルサイトのトップページに、バナー広告を掲載 ・地元の中高生が生産者を直接取材し、その様子を「石巻ふるさと納税サイト」に掲載（街記者） ・市内の高校同窓会等でのチラシ配布等 ・各種イベントにてチラシ配布（石巻専修大学、東京都品川、東京都神宮外苑）</p>																							
成果		<p>特産品の贈与を再開した平成26年度を超える申込件数と寄附金額の実績となった。</p> <p>1 寄附金実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄附件数</td> <td>193件</td> <td>167件</td> <td>227件</td> <td>17,642件</td> <td>25,078件</td> </tr> <tr> <td>寄附金額</td> <td>32,221,889円</td> <td>14,186,369円</td> <td>25,520,807円</td> <td>316,818,248円</td> <td>355,750,382円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」トップページへのバナー広告の掲載や、集客性の高いイベントでのチラシ配布等でP Rを行い、寄附金の増収を図った。</p> <p>3 ふるさと納税の事務業務を委託することにより、ふるさと納税の専用窓口を設け、サービス向上が図られた。</p>						区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	寄附件数	193件	167件	227件	17,642件	25,078件	寄附金額	32,221,889円	14,186,369円	25,520,807円	316,818,248円	355,750,382円
区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度																				
寄附件数	193件	167件	227件	17,642件	25,078件																				
寄附金額	32,221,889円	14,186,369円	25,520,807円	316,818,248円	355,750,382円																				
成果に係る評価		事務業務の委託や各種P R等を行った結果、平成26年度と同様に3億円を超える寄附があった。今後は、ホームページや動画を使ったP Rや、年に数回にわたり特産品選定会などを開催し、返礼品の入替えを行うなど寄附者の増加を図っていく。																							
(単位：円)																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	188,819,309	169,504,261				169,504,261																			

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																																													
	1 項	総務管理費		第 1 節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる		()																																													
	7 目	地域振興費		(1)	個性ある地域をつくる		()																																													
実施計画掲載ページ		P 93	中 事 業	市民協働推進費																																																
事業コード		006-001-001-00023	事 業 名	地域づくり基金助成事業																																																
目的及び事業内容		市内に活動の拠点を有する団体や地域自治組織等が、行政との協働のまちづくり事業（100%助成）や市全域のまちづくりに寄与する地域コミュニティ活性化事業（助成率70%）の実施に対し、助成金（限度額30万円）を支援するもの。																																																		
取組実績		<p>1 新規助成団体数 5団体（本庁5件）</p> <p>2 継続助成団体数 9団体（本庁3件、河北1件、河南1件、桃生3件、牡鹿1件）</p> <p>3 再申請団体数 1団体（牡鹿1件）</p> <p>計 助成団体数 15団体（本庁8件、河北1件、河南1件、桃生3件、牡鹿2件）</p> <p>公開プレゼンテーションによる審査の結果、条件付き交付決定団体となった1団体を含め全15団体の事業に決定し助成金を交付した。</p>																																																		
成果		<p>事業の実施により、地域コミュニティの活性化が図られただけでなく、主体的に参加した子ども達を含めた世代間交流や将来の地域づくりのリーダーの育成も図ることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>団体名</th> <th>事業の名称</th> <th>団体名</th> <th>事業の名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>水と緑の環境フォーラム・もう</td> <td>北上川親子自然交流事業並びに北上川に係る講演会</td> <td>8 河南桃生商工会青年部</td> <td>郷土体験「はねこ塾」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>がんばろう！石巻の会</td> <td>東日本大震災 追悼 3.11のつどい</td> <td>9 特定非営利活動法人 T E D I C</td> <td>不登校児童・生徒のチャレンジプログラム</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>特定非営利活動法人石巻スポーツ振興サポートセンター</td> <td>石巻式わんぱくキックベース・フェスティバル</td> <td>10 特定非営利活動法人 まちの寄り合い所・うめばたけ</td> <td>うめばたけ ことも図書室</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>子どもの権利条約フォーラム2015 in石巻実行委員会</td> <td>子どもの権利条約フォーラム2015 in石巻</td> <td>11 特定非営利活動法人 ジョイフル網地島</td> <td>長渡地区内の村道（現在散策路）の整備</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>石巻ドリームプラン・プレゼンテーション</td> <td>巻っ子ドリプラン石巻2015</td> <td>12 未来の石巻を創る中学生の応援委員会</td> <td>未来の石巻を創る中学生の応援プロジェクト</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>特定非営利活動法人ベビースマイル石巻</td> <td>お産と子育てリソースマップ作成事業</td> <td>13 ずばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会</td> <td>ずばらしい北北上運河沿線の環境美化活動</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>河南鹿嶋ばやし保存会</td> <td>河南鹿嶋ばやし伝承事業</td> <td>14 あじ朗志組</td> <td>続『紅葉の山を出現せよ』事業</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15 一般社団法人りぶらす</td> <td>地域健康サポーター事業</td> </tr> </tbody> </table>							団体名	事業の名称	団体名	事業の名称	1	水と緑の環境フォーラム・もう	北上川親子自然交流事業並びに北上川に係る講演会	8 河南桃生商工会青年部	郷土体験「はねこ塾」	2	がんばろう！石巻の会	東日本大震災 追悼 3.11のつどい	9 特定非営利活動法人 T E D I C	不登校児童・生徒のチャレンジプログラム	3	特定非営利活動法人石巻スポーツ振興サポートセンター	石巻式わんぱくキックベース・フェスティバル	10 特定非営利活動法人 まちの寄り合い所・うめばたけ	うめばたけ ことも図書室	4	子どもの権利条約フォーラム2015 in石巻実行委員会	子どもの権利条約フォーラム2015 in石巻	11 特定非営利活動法人 ジョイフル網地島	長渡地区内の村道（現在散策路）の整備	5	石巻ドリームプラン・プレゼンテーション	巻っ子ドリプラン石巻2015	12 未来の石巻を創る中学生の応援委員会	未来の石巻を創る中学生の応援プロジェクト	6	特定非営利活動法人ベビースマイル石巻	お産と子育てリソースマップ作成事業	13 ずばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会	ずばらしい北北上運河沿線の環境美化活動	7	河南鹿嶋ばやし保存会	河南鹿嶋ばやし伝承事業	14 あじ朗志組	続『紅葉の山を出現せよ』事業				15 一般社団法人りぶらす	地域健康サポーター事業
	団体名	事業の名称	団体名	事業の名称																																																
1	水と緑の環境フォーラム・もう	北上川親子自然交流事業並びに北上川に係る講演会	8 河南桃生商工会青年部	郷土体験「はねこ塾」																																																
2	がんばろう！石巻の会	東日本大震災 追悼 3.11のつどい	9 特定非営利活動法人 T E D I C	不登校児童・生徒のチャレンジプログラム																																																
3	特定非営利活動法人石巻スポーツ振興サポートセンター	石巻式わんぱくキックベース・フェスティバル	10 特定非営利活動法人 まちの寄り合い所・うめばたけ	うめばたけ ことも図書室																																																
4	子どもの権利条約フォーラム2015 in石巻実行委員会	子どもの権利条約フォーラム2015 in石巻	11 特定非営利活動法人 ジョイフル網地島	長渡地区内の村道（現在散策路）の整備																																																
5	石巻ドリームプラン・プレゼンテーション	巻っ子ドリプラン石巻2015	12 未来の石巻を創る中学生の応援委員会	未来の石巻を創る中学生の応援プロジェクト																																																
6	特定非営利活動法人ベビースマイル石巻	お産と子育てリソースマップ作成事業	13 ずばらしい北北上運河沿線の自然環境を守る協議会	ずばらしい北北上運河沿線の環境美化活動																																																
7	河南鹿嶋ばやし保存会	河南鹿嶋ばやし伝承事業	14 あじ朗志組	続『紅葉の山を出現せよ』事業																																																
			15 一般社団法人りぶらす	地域健康サポーター事業																																																
成果に係る評価		公開プレゼンテーションの実施により、自団体の活動について見つめ直すとともに、他団体の活動内容について学習する良い機会になった。また、事業の実施については、子ども達や若者、さらには子育て世代の参加者が多く見受けられ、住民同士のつながりや地域の連携が図られたことから、今後も事業を継続して実施することが必要と考えられる。																																																		
(単位：円)																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																														
	4,000,000	3,353,000				3,353,000																																														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第1章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																																				
	1 項	総務管理費		第1節	住民の自治力を強化する		()																																				
	7 目	地域振興費		(2)	公益的な市民活動を支援する		()																																				
実施計画掲載ページ		P11	中 事 業		市民協働推進費																																						
事業コード		001-001-002-00675	事 業 名		集会所建設費補助事業																																						
目的及び事業内容		<p>【目的】住民の連帯意識の醸成と自治意識の高揚を図り、もって地域社会の健全な発展に資する。 【内容】集会所の新築事業、集会所の改築、増築及び改修事業、既存建物を集会所として利用するための取得事業、集会所建設用地の取得事業、集会所の排水設備の公共下水道等への接続事業などに対する補助</p>																																									
取組実績		<p>○集会所の新築及び改修事業（石巻市集会所建設費等補助金） 【新築1件】 ・大須集会所 木造平屋建て 198.87㎡ 【改修4件】 ・高木西会館 改修内容：屋根塗装、外壁修繕塗装 ・高須賀上交誼会会館 改修内容：アルミサッシ交換、和室床下地板交換、和室砂壁塗り替え ・倉塚中生活改善センター 改修内容：屋根葺き替え ・沼津集落センター 改修内容：トイレ改修</p>																																									
成果		<p>地域活動の拠点となる地区集会所の新築及び改修に対して補助金を交付し支援することにより、地域コミュニティ活動の促進と地域の連帯感の高揚が図られた。</p> <p>○石巻市集会所建設費等補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>集会所名</th> <th>事業区分</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大須集会所</td> <td>新築</td> <td>31,000,000円</td> <td>30,989,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>高木西会館</td> <td>改修</td> <td>1,200,000円</td> <td>800,000円</td> <td>2/3以内</td> </tr> <tr> <td>高須賀上交誼会会館</td> <td>改修</td> <td>1,950,113円</td> <td>1,300,000円</td> <td>2/3以内</td> </tr> <tr> <td>倉塚中生活改善センター</td> <td>改修</td> <td>1,729,510円</td> <td>1,153,000円</td> <td>2/3以内</td> </tr> <tr> <td>沼津集落センター</td> <td>改修</td> <td>1,556,280円</td> <td>1,037,000円</td> <td>2/3以内</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>37,435,903円</td> <td>35,279,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							集会所名	事業区分	事業費	補助金額	割合	大須集会所	新築	31,000,000円	30,989,000円	上限	高木西会館	改修	1,200,000円	800,000円	2/3以内	高須賀上交誼会会館	改修	1,950,113円	1,300,000円	2/3以内	倉塚中生活改善センター	改修	1,729,510円	1,153,000円	2/3以内	沼津集落センター	改修	1,556,280円	1,037,000円	2/3以内	計		37,435,903円	35,279,000円	
集会所名	事業区分	事業費	補助金額	割合																																							
大須集会所	新築	31,000,000円	30,989,000円	上限																																							
高木西会館	改修	1,200,000円	800,000円	2/3以内																																							
高須賀上交誼会会館	改修	1,950,113円	1,300,000円	2/3以内																																							
倉塚中生活改善センター	改修	1,729,510円	1,153,000円	2/3以内																																							
沼津集落センター	改修	1,556,280円	1,037,000円	2/3以内																																							
計		37,435,903円	35,279,000円																																								
成果に係る評価		<p>地域コミュニティ活動の拠点である集会所の建設・整備に対しては、市民と協働のまちづくりを推進する上で重要な施設であるという認識のもと、今後も継続して補助を行っていく必要がある。</p>																																									
(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	35,290,000	35,279,000			33,771,000	1,508,000																																					

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																			
	1 項	総務管理費		第 節			()																			
	7 目	地域振興費		()			()																			
実施計画掲載ページ			中 事 業		コミュニティ施設関係費																					
事業コード			事 業 名		コミュニティ施設管理運営事業																					
目的及び事業内容		<p>地域のコミュニティづくりの推進を図るために設置したコミュニティ施設を適切に管理運営することで、地域住民の連帯意識を高め、住民の福祉と健康の増進に寄与することを目的とする。</p>																								
取組実績		<p>1 向陽地区コミュニティセンター</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間利用実績</td> <td>35,832人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 鹿妻南コミュニティハウス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間利用実績</td> <td>7,676人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な利用内容】 サークル活動、町内会打ち合わせ、スポーツ少年団活動、ボランティア活動、健康教室、検診会場、企業研修等</p>							区 分	利用者数	年間利用実績	35,832人	区 分	利用者数	年間利用実績	7,676人										
区 分	利用者数																									
年間利用実績	35,832人																									
区 分	利用者数																									
年間利用実績	7,676人																									
成果		<p>施設管理人を配置し、適正管理に努めた。 利用状況としては、継続的に使用している団体もあり、地域のコミュニティづくりの推進が図られた。</p> <p>【使用実績】 向陽地区コミュニティセンター</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>使用料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>1,606件</td> <td>3,721,808円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,380件</td> <td>3,483,540円</td> </tr> </tbody> </table> <p>鹿妻南コミュニティハウス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>件数</th> <th>使用料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>284件</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>303件</td> <td>416,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 鹿妻南コミュニティハウスは平成27年4月30日までの期間、東日本大震災の復興に資するため、地域のコミュニティ再生を目的として、市民または市内に活動拠点を置く団体が、地域のコミュニティづくりのために主催または主体となって利用する場合には、使用料を100%免除とした。</p>							区分	件数	使用料	H26	1,606件	3,721,808円	H27	1,380件	3,483,540円	区分	件数	使用料	H26	284件	0円	H27	303件	416,000円
区分	件数	使用料																								
H26	1,606件	3,721,808円																								
H27	1,380件	3,483,540円																								
区分	件数	使用料																								
H26	284件	0円																								
H27	303件	416,000円																								
成果に係る評価		<p>サークル活動や町内会活動の場として施設が活用されることにより、地域コミュニティの醸成が図られ、特に鹿妻地区においては震災により失われたコミュニティ形成の一助となった。 市外の団体からの利用申込みもあり、周辺住民同士にとどまらない交流の場となった。 向陽地区コミュニティセンターの利用人数が減少した理由は、平成26年度は石巻中央公民館の施設改修工事が行われ、公民館が利用不可となったことにより、公民館利用団体がコミュニティセンターを利用したため利用件数が増加したが、平成27年度から再び使用可能となったことから、利用件数減になったと考えられる。</p>																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	12,959,008	12,458,481			11,603,989	854,492																				

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()																																	
	1 項	総務管理費		第 節		()																																	
	7 目	地域振興費		()		()																																	
実施計画掲載ページ			中 事 業	市民協働推進費																																			
事業コード			事 業 名	NPO支援推進事業																																			
目的及び事業内容		<p>市民公益活動団体の活動支援の拠点として「NPO支援オフィス」を開設し、市民公益活動団体、市民、事業者及び市の連携・交流の場を提供することにより、石巻市内で活動するNPOの育成・支援を図る。</p> <p>1 NPO支援オフィスの管理運営事業（施設管理業務、情報収集・提供業務、相談業務） 2 市民活動支援事業（市民活動リーダー養成講座、市民活動団体マネジメント講座） 3 ネットワーク推進事業（ネットワークづくりの準備、ネットワークの事務局運営）</p>																																					
取組実績		<p>1 NPO支援オフィスの管理運営等 NPO支援を目的として活動している特定非営利活動法人いしのみきNPOセンターを指定管理者とし、多様化する利用者の様々なニーズに、より効果的かつ効率的に対応した。</p> <p>(1) 機器利用サービス・・・印刷機・コピー機・裁断機・パソコン等の貸出し (2) 相談・問合せ対応・・・NPOについての相談・問い合わせ等に関する対応 (3) 広報誌作成・・・・・・・・「通信んぼん舗」作成 毎月1回 年間12号を発行 (4) 情報提供・・・・・・・・ホームページにオフィス及び登録団体等の紹介 (5) 会議室・ロッカー・メールボックスの貸出し (6) 団体等の運営に係る相談 (7) 補助金等の案内</p> <p>2 市民活動支援事業 (1) ビジスマナー講座、入札制度勉強会 (2) パソコン講座</p> <p>3 ネットワーク推進事業 (1) 登録団体の活動実態調査、登録台帳整理 (2) NPO・ボランティア団体64団体による「石巻市NPO連絡会議」の発足及び全体会(2回)の開催</p>																																					
成 果		<p>NPO支援オフィス利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>来館者数</th> <th>会議室利用数</th> <th>相談件数</th> <th>図 書 閲覧者数</th> <th>パソコン利用者数</th> <th>機 器 利用者数</th> <th>揭示物依頼数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26実績</td> <td>3,050人</td> <td>169件</td> <td>155件</td> <td>17人</td> <td>46人</td> <td>452人</td> <td>45件</td> </tr> <tr> <td>H27実績</td> <td>3,442人</td> <td>222件</td> <td>132件</td> <td>4人</td> <td>108人</td> <td>559人</td> <td>61件</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>392人増</td> <td>53件増</td> <td>23件減</td> <td>13人減</td> <td>62人増</td> <td>107人増</td> <td>16件増</td> </tr> </tbody> </table> <p>・石巻市市民公益活動団体登録数 130団体 ・メールボックス利用団体数 11団体 ・貸ロッカー利用団体数 13団体</p> <p>NPO支援オフィスの利用者が昨年度よりも増加し、市民公益活動団体登録数も8団体増えた。NPO団体が必要とする講座、研修会等を8回開催し、団体の活動支援に努めた。</p> <p>市内で活動するNPO・ボランティア団体の連携と活動の活性化を図る目的で「石巻市NPO連絡会議」が発足し、これにより、登録団体のネットワーク化が図られることになった。</p>						区分	来館者数	会議室利用数	相談件数	図 書 閲覧者数	パソコン利用者数	機 器 利用者数	揭示物依頼数	H26実績	3,050人	169件	155件	17人	46人	452人	45件	H27実績	3,442人	222件	132件	4人	108人	559人	61件	前年度比	392人増	53件増	23件減	13人減	62人増	107人増	16件増
区分	来館者数	会議室利用数	相談件数	図 書 閲覧者数	パソコン利用者数	機 器 利用者数	揭示物依頼数																																
H26実績	3,050人	169件	155件	17人	46人	452人	45件																																
H27実績	3,442人	222件	132件	4人	108人	559人	61件																																
前年度比	392人増	53件増	23件減	13人減	62人増	107人増	16件増																																
成果に係る評価		<p>NPO支援オフィスへの来館者が増加したことは、NPO支援オフィスの存在が広く認知され、中間支援組織としての役割が浸透されてきていると考えられる。</p> <p>NPO支援オフィスの重要な役割である市民活動支援事業及びネットワーク推進事業において、各種講座の開催、団体間の情報交換や交流の場を提供する組織「石巻市NPO連絡会議」が発足したことは一定の評価ができる。今後、「石巻市NPO連絡会議」のもとでNPO団体の活動が活性化し、行政と協働のまちづくりへ向けた連携が図られることが期待できる。</p>																																					
(単位：円)																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	8,640,000	8,640,000			8,640,000																																		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 1 章	復興計画	ともに創る協働のまち	()																																																																														
	1 項	総務管理費		第 2 節		市民のまちづくりに対する関心を高める	()																																																																														
	7 目	地域振興費		(2)		市民参加を促進する	()																																																																														
実施計画掲載ページ		P12	中 事 業	市民協働推進費																																																																																	
事業コード		001-002-002-00016	事 業 名	地域まちづくり委員会事業																																																																																	
目的及び事業内容		<p>旧町単位に地域住民と行政が協働し、地域づくりを進められる仕組みとして、地域まちづくり委員会を設置し、地域の活性化や地域の均衡ある発展についての協議やまちづくりの推進や提言を行うなど各地域の発展や課題解決に努める。</p>																																																																																			
取組実績		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">【開催実績】</th> <th rowspan="2">委員数</th> <th colspan="2">第1回</th> <th colspan="2">第2回</th> <th colspan="2">第3回</th> <th colspan="2">第4回</th> </tr> <tr> <th>開催日</th> <th>委員参加数</th> <th>開催日</th> <th>委員参加数</th> <th>開催日</th> <th>委員参加数</th> <th>開催日</th> <th>委員参加数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地域まちづくり委員会</td> <td>11人</td> <td>10/21</td> <td>10名</td> <td>2/3</td> <td>11名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>雄勝地域まちづくり委員会</td> <td>20人</td> <td>10/14</td> <td>14名</td> <td>12/3</td> <td>15名</td> <td>1/28</td> <td>17名</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>河南地域まちづくり委員会</td> <td>18人</td> <td>10/29</td> <td>17名</td> <td>2/3</td> <td>16名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>桃生地域まちづくり委員会</td> <td>11人</td> <td>11/6</td> <td>10名</td> <td>1/29</td> <td>10名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>北上地域まちづくり委員会</td> <td>19人</td> <td>6/15</td> <td>12名</td> <td>8/26</td> <td>10名</td> <td>10/16</td> <td>15名</td> <td>2/10</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地域まちづくり委員会</td> <td>15人</td> <td>11/5</td> <td>11名</td> <td>2/12</td> <td>8名</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>						【開催実績】	委員数	第1回		第2回		第3回		第4回		開催日	委員参加数	開催日	委員参加数	開催日	委員参加数	開催日	委員参加数	河北地域まちづくり委員会	11人	10/21	10名	2/3	11名	-	-	-	-	雄勝地域まちづくり委員会	20人	10/14	14名	12/3	15名	1/28	17名	-	-	河南地域まちづくり委員会	18人	10/29	17名	2/3	16名	-	-	-	-	桃生地域まちづくり委員会	11人	11/6	10名	1/29	10名	-	-	-	-	北上地域まちづくり委員会	19人	6/15	12名	8/26	10名	10/16	15名	2/10	17名	牡鹿地域まちづくり委員会	15人	11/5	11名	2/12	8名	-	-	-	-
【開催実績】	委員数	第1回		第2回		第3回				第4回																																																																											
		開催日	委員参加数	開催日	委員参加数	開催日	委員参加数	開催日	委員参加数																																																																												
河北地域まちづくり委員会	11人	10/21	10名	2/3	11名	-	-	-	-																																																																												
雄勝地域まちづくり委員会	20人	10/14	14名	12/3	15名	1/28	17名	-	-																																																																												
河南地域まちづくり委員会	18人	10/29	17名	2/3	16名	-	-	-	-																																																																												
桃生地域まちづくり委員会	11人	11/6	10名	1/29	10名	-	-	-	-																																																																												
北上地域まちづくり委員会	19人	6/15	12名	8/26	10名	10/16	15名	2/10	17名																																																																												
牡鹿地域まちづくり委員会	15人	11/5	11名	2/12	8名	-	-	-	-																																																																												
成 果		<p>【全体】平成27年9月に第6期委員を委嘱。委嘱状の交付、会長の選任から始まり、地域まちづくり委員会の役割、新市まちづくり計画の進捗等各種計画の現状について説明を実施</p> <p>(河北) 若者離れによる地域の将来に対する不安、地場産業の振興策と子育て支援策の拡充、地域の伝統を道の駅を活用し付加を付けて発信、空き家の活用、団体活動や地域活動での役割に充実感を持たせる必要があるとの意見が出された。</p> <p>(雄勝) 防潮堤の仕様、中心部低平地土地利用計画、中心部整備説明会、雄勝小中学校、復興事業の現状、店こ屋街移転事業、情報交流館、まちづくりワーキンググループからの提案等について議論された。</p> <p>(河南) 合併10年の総括、地区の事業概要、担い手の育成、課題の洗い出し、施策の展開について検討を行い、今後の委員会の方向性が議論された。</p> <p>(桃生) 高齢化への施策・対応の検討、各地域のみの展開ではなく地区ごとの横の連携の必要性、学校施設の避難所対応等が議論され、平成28年度からは桃生地区での具体的な事業等での検討を開始する。</p> <p>(北上) 第5期北上地域の提案書を市長に提案、防集団地の進捗・空き区画の方針、情報交流館の仕様、ビジターセンター、鎮魂の森計画設置場所等について議論された。</p> <p>(牡鹿) 人口対策、後継者不足、学校の統廃合、産業振興、交流人口などについて議論された。</p>																																																																																			
成果に係る評価		<p>平成27年9月に第6期委員が委嘱され、震災後初めて委員会が全総合支所地域で開催された。平成27年度については、事業の概要説明、必要な対策の洗い出しが行われた。今後も地域全体の意見の集約や調整がなされ、地域のまちづくりに活かされるよう継続して開催する必要がある。</p>																																																																																			
(単位：円)																																																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																															
	3,342,000	1,824,000			1,500,000	324,000																																																																															

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()													
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()													
	7 目	地域振興費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()													
実施計画掲載ページ		P 28	中 事 業		国内姉妹都市・友好都市交流推進費															
事業コード		002-003-001-00020	事 業 名		河北町との友好都市交流事業															
目的及び事業内容		<p>平成13年1月、旧河北町と山形県河北町が同町名であったことから、相互交流を促進し、教育・文化・福祉・産業等の振興を図り信頼と友情を深め、両町の発展に寄与することを目的に友好都市の盟約を締結した。</p> <p>平成17年4月の新石巻市の誕生により、従来のつながりを存続するため、平成18年1月30日に新たに友好都市盟約を締結した。</p> <p>両市町の友好関係をより一層深めるため、相互の特性を活かした事業を実施するとともに、互いを訪問し両市町の活性化と市民町民間の交流を推進する。</p>																		
取組実績		<p>1 さくらんぼ狩り招待事業 ○日 程 平成27年6月27日(土) ○場 所 山形県河北町内 ○参加者 河北地区仮設住宅住民30人 ○内 容 さくらんぼ狩り→「ひなの湯」にて昼食・休憩→紅花資料館の施設見学並びに紅花染めの体験→道の駅河北「ぶらっとびあ」見学・買物</p> <p>2 どんがまつり招待事業 ○日 程 平成27年9月20日(日) ○場 所 山形県河北町 谷地八幡神社・紅花資料館ほか ○参加者 市内仮設住宅住民34人 ○内 容 紅花資料館の施設見学並びに紅花染めの体験→「ひなの湯」にて昼食・休憩→「谷地どんがまつり」見学→道の駅河北「ぶらっとびあ」見学・買物</p> <p>さくらんぼ狩り招待事業とどんがまつり招待事業は、仮設住宅で生活している住民を対象に募集を行い、山形県河北町を訪問した。</p> <p>3 大漁まつり見学ツアー ○日 程 平成27年10月18日(日) ○場 所 石巻魚市場及び道の駅「上品の里」 ○内 容 大漁まつり見学→道の駅「上品の郷」見学・昼食・買物 ・山形河北町のツアー参加者をはじめとした認定農業者の会が大漁まつりに出店し、地元特産品のラ・フランスやりんごを販売 ・「ご当地鍋共演」では山形県河北町の「納豆汁」を販売 山形県河北町からのツアー参加者80人のほか、出店者としての参加もあった。</p>																		
成 果		<p>さくらんぼ狩り招待事業(H25~H27)と、どんがまつり招待事業(H24~H27)は、復興支援事業の一環として山形県河北町側で費用を負担した。</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>実施年度</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>各交流事業への参加人数</td> <td>震災により中止</td> <td>244人</td> <td>900人</td> <td>81人</td> <td>144人</td> </tr> </table>							実施年度	H23	H24	H25	H26	H27	各交流事業への参加人数	震災により中止	244人	900人	81人	144人
実施年度	H23	H24	H25	H26	H27															
各交流事業への参加人数	震災により中止	244人	900人	81人	144人															
成果に係る評価		<p>震災後は山形県河北町で行われた招待事業による交流が主となっていたが、山形県河北町と協議を行ない、平成27年度に本市で開催する大漁まつりからは、通常的交流事業に戻すこととして、80名の河北町民を受入れし、両市町の特性を生かした交流事業を推進することができた。</p>																		
予算の執行状況		(単位:円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	347,975	347,975				347,975														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																	
	1 項	総務管理費		第 節			()																	
	7 目	地域振興費		()			()																	
実施計画掲載ページ			中 事 業		結婚支援事業費																			
事業コード			事 業 名		結婚支援事業																			
目的及び事業内容		<p>本市在住の未婚男性に出会いの機会を提供するため婚活イベントを実施し、結婚アドバイザーによる事前講習会を行い、交際に至るまでを支援する。また、結婚の前段として、出会いの機会が得られない未婚者同士が出会えるきっかけとなる場を提供する。</p> <p>出会いの機会を提供することにより、少子化対策の推進や、交流の場として活用する市内の飲食店等の活性化に資する。</p>																						
取組実績		<p>1 事業内容</p> <p>(1) 女性参加者募集(定員20名:農業に興味のある全国の独身女性)</p> <p>(2) 男性参加者募集(定員20名:市内在住で農業従事者や兼業農家などの独身男性) ※男性女性ともに概ね50歳までを対象とした。 ※参加費:男性10,000円 女性 5,000円(県外参加者には仙台駅までの交通費を一部助成※上限23,000円)</p> <p>(3) 男性参加者への結婚アドバイザーによる事前講習会(事前セミナー) 第1回目の講習会 開催日:平成27年12月12日(土)、会場:石巻中央公民館 ※講習会内容:自分を知る、身だしなみ、コミュニケーション能力向上等、参加者:26名 第2回目の講習会 開催日:平成28年1月23日(土)、会場:石巻中央公民館 ※講習会内容:イベント参加に向けての心構え等、参加者:13名</p> <p>(4) 婚活イベント(1泊2日):平成28年1月23日(土)~24日(日) ア 1日目:石巻中央公民館にて自己紹介、アイスブレイクゲーム、立町周辺をグループでまち歩き、追分温泉会場で懇親会 懇親会終了後に女性参加者は追分温泉に宿泊し、講師による恋愛個別相談会を実施 イ 2日目:河南地区のいちご農園でプチ農業体験(いちご摘み取り)、遊楽館会場において郷土料理での昼食会、告白タイム</p> <p>(5) イベント終了後のフォローアップ カップリング成立者に、次に向けた仕掛け作りプランの提供を行った。</p>																						
成 果		<ul style="list-style-type: none"> まち歩きでのグループ行動、懇親会でのゲーム大会やいちごの摘み取り等多くの交流機会を設けたことにより、6組のカップルの成立につながった。(カップル成立率46%) 県外からの女性参加者が30%を超え、全国的に周知がなされた。(県外参加者数6名) 本市の農家での農業体験や地場産品を活用した郷土料理の提供等を行い、参加者に本市の魅力をPRすることができた。 参加人数が目標の20名には達しなかったものの、男性よりも女性参加者が多く、イベントに盛り上がりがあった。 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="2">区分</td> <td colspan="2">イベント参加者数</td> <td rowspan="2">達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>20名</td> <td>13名</td> <td rowspan="3">75%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>20名</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>40名</td> <td>30名</td> </tr> </table>							区分	イベント参加者数		達成率	目標	実績	男性	20名	13名	75%	女性	20名	17名	合計	40名	30名
区分	イベント参加者数		達成率																					
	目標	実績																						
男性	20名	13名	75%																					
女性	20名	17名																						
合計	40名	30名																						
成果に係る評価		<p>婚活イベントを継続的に開催することにより、出会いの機会を設け結婚に繋がる可能性を高めるとともに、不成立だった男性参加者へのフォローアップを行うことにより、結婚に対する意識の向上が図られた。</p>																						
予算の執行状況		(単位:円)																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	1,854,428	1,836,317	480,000		215,000	1,141,317																		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																
	8 目	離島振興費		(2)	離島の交通手段を確保する		()																
実施計画掲載ページ		P100	中 事 業		離島振興対策費																		
事業コード		006-004-002-00015	事 業 名		離島航路維持事業																		
目的及び事業内容		田代島や網地島の市民生活を支える大切な離島航路の安定的な運行のため、航路事業者への補助及び資金貸付けなどによる支援を行う。また、夜間救急患者搬送に対応できるような田代島の船舶待機に対する支援を実施する。																					
取組実績		<p>1 離島航路維持費補助金の交付 安定的な航路運営を実現するため、国、県と協調しながら離島航路事業者に補助金を交付した。</p> <p>2 離島住民運賃割引の実施に対する補助金の交付 島民の生活の足の確保や、公共交通機関としての利便性を高めることを目的に運賃割引を実施し、運賃収入の欠損分について支援を行った。</p> <p>3 離島航路事業経営安定資金貸付の実施 航路事業者である網地島ラインの財務基盤を強化し円滑な事業運営を行うため、事業資金の貸付けを行い資金調達を支援した。</p> <p>4 緊急医療対策補助金の交付 夜間における患者の緊急搬送を行うため、田代島へのブルーライナーと船員を待機させる費用を航路事業者に補助金として交付した。</p>																					
成 果		<p>東日本大震災の影響や高齢化、過疎化により輸送人員が減少しており、事業者の経営努力や航路確保における施策等を講じたことなどで、安定した航路運航が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間運航回数</td> <td>3,724回</td> <td>4,730回</td> <td>5,416回</td> <td>5,147回</td> </tr> <tr> <td>年間乗客者数</td> <td>41,158人</td> <td>61,949人</td> <td>68,578人</td> <td>85,553人</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成27年7月21日に夜間緊急搬送を実施し、容態の急変した患者1名を市内の病院へ搬送した。</p>							主な指標項目	H24	H25	H26	H27	年間運航回数	3,724回	4,730回	5,416回	5,147回	年間乗客者数	41,158人	61,949人	68,578人	85,553人
主な指標項目	H24	H25	H26	H27																			
年間運航回数	3,724回	4,730回	5,416回	5,147回																			
年間乗客者数	41,158人	61,949人	68,578人	85,553人																			
成果に係る評価		<p>1 利用者数の推移 東日本大震災以降、運航本数の減少を余儀なくされていたが、平成24年1月20日より通常ダイヤでの就航を再開。平成25年度には白浜海水浴場の再開や近年の猫プームの影響もあり、利用者は回復基調にある。平成27年度は震災以前の水準を凌ぐ利用者数を記録しており、各種支援を通じた安定的な航路運営が実現していると考えられる。</p> <p>2 緊急搬送の実施 平成27年度は7月に1件の夜間緊急搬送実績があり人命の救助にも貢献している。</p> <p>3 総評 旅客収入増を受け航路運営が安定化してきた一方で、船舶の老朽化など経費増加や安全性の低下などの課題があることから、新船舶導入を含め今後とも島民・事業者・行政の3者が連携し経営改善を図る必要がある。</p>																					
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																		
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	71,858,864		57,349,635		1,261,252		51,000,000	5,088,383															

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																																																												
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																																																												
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																																																												
実施計画掲載ページ		P99	中 事 業		地域交通対策関係費																																																														
事業コード		006-004-001-00011	事 業 名		住民バス運行費補助事業																																																														
目的及び事業内容		地域住民の代表者が運営主体となって運行する住民バス及び乗合タクシーの運行事業に対して運行費を補助し、交通弱者となっている移動手段を持たない高齢者等に、日常生活上の外出・移動を可能な限り行えるよう支援する。																																																																	
取組実績		<p>交通弱者となっている高齢者等の外出・移動手段を確保するため、市内9地区の住民バス及び乗合タクシー事業の運行主体である運行協議会に対し運行費を補助した。</p> <p>平成27年度運行協議会別補助の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>運行主体</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>河北地区住民バス運行協議会</td> <td>7,905,551円</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>雄勝地区運行協議会</td> <td>19,931,412円</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>河南地区運行協議会</td> <td>6,837,053円</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>桃生地区運行協議会</td> <td>11,878,858円</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>北上地区住民バス等運行協議会</td> <td>8,204,955円</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>稲井地域乗合タクシー運行協議会</td> <td>6,795,206円</td> </tr> <tr> <td>萩浜地区住民バス</td> <td>萩浜地区住民バス運行協議会</td> <td>11,481,839円</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>山の手地区乗合タクシー運行協議会</td> <td>5,157,339円</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会</td> <td>3,437,758円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>81,629,971円</td> </tr> </tbody> </table>							名称	運行主体	補助金額	河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	7,905,551円	雄勝地区住民バス	雄勝地区運行協議会	19,931,412円	河南地区乗合タクシー	河南地区運行協議会	6,837,053円	桃生地区住民バス	桃生地区運行協議会	11,878,858円	北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	8,204,955円	稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	6,795,206円	萩浜地区住民バス	萩浜地区住民バス運行協議会	11,481,839円	山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	5,157,339円	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会	3,437,758円	合計		81,629,971円																										
名称	運行主体	補助金額																																																																	
河北地区住民バス	河北地区住民バス運行協議会	7,905,551円																																																																	
雄勝地区住民バス	雄勝地区運行協議会	19,931,412円																																																																	
河南地区乗合タクシー	河南地区運行協議会	6,837,053円																																																																	
桃生地区住民バス	桃生地区運行協議会	11,878,858円																																																																	
北上地区住民バス	北上地区住民バス等運行協議会	8,204,955円																																																																	
稲井地域乗合タクシー	稲井地域乗合タクシー運行協議会	6,795,206円																																																																	
萩浜地区住民バス	萩浜地区住民バス運行協議会	11,481,839円																																																																	
山の手地区乗合タクシー	山の手地区乗合タクシー運行協議会	5,157,339円																																																																	
水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	水押・開北・大橋・水明地区住民バス運行協議会	3,437,758円																																																																	
合計		81,629,971円																																																																	
成 果		<p>運行費の補助により、住民バス及び乗合タクシーが安定して運行され、高齢者をはじめとする地域住民の日常生活上の外出・移動手段の確保が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">H26</th> <th colspan="2">H27</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北地区住民バス</td> <td>5,504人</td> <td>1,714便</td> <td>5,614人</td> <td>1,656便</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区住民バス</td> <td>10,859人</td> <td>7,879便</td> <td>10,426人</td> <td>7,712便</td> </tr> <tr> <td>河南地区乗合タクシー</td> <td>4,796人</td> <td>3,759便</td> <td>4,312人</td> <td>2,688便</td> </tr> <tr> <td>桃生地区住民バス</td> <td>4,457人</td> <td>2,312便</td> <td>6,283人</td> <td>2,304便</td> </tr> <tr> <td>北上地区住民バス</td> <td>10,447人</td> <td>1,452便</td> <td>8,708人</td> <td>1,452便</td> </tr> <tr> <td>稲井地域乗合タクシー</td> <td>10,302人</td> <td>4,426便</td> <td>9,384人</td> <td>4,430便</td> </tr> <tr> <td>萩浜地区住民バス</td> <td>6,372人</td> <td>1,456便</td> <td>5,764人</td> <td>1,456便</td> </tr> <tr> <td>山の手地区乗合タクシー</td> <td>10,405人</td> <td>5,991便</td> <td>10,388人</td> <td>5,961便</td> </tr> <tr> <td>水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー</td> <td>6,759人</td> <td>3,873便</td> <td>7,280人</td> <td>4,215便</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>69,901人</td> <td>32,862便</td> <td>68,159人</td> <td>31,874便</td> </tr> </tbody> </table>							名称	H26		H27		利用者数	便数	利用者数	便数	河北地区住民バス	5,504人	1,714便	5,614人	1,656便	雄勝地区住民バス	10,859人	7,879便	10,426人	7,712便	河南地区乗合タクシー	4,796人	3,759便	4,312人	2,688便	桃生地区住民バス	4,457人	2,312便	6,283人	2,304便	北上地区住民バス	10,447人	1,452便	8,708人	1,452便	稲井地域乗合タクシー	10,302人	4,426便	9,384人	4,430便	萩浜地区住民バス	6,372人	1,456便	5,764人	1,456便	山の手地区乗合タクシー	10,405人	5,991便	10,388人	5,961便	水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	6,759人	3,873便	7,280人	4,215便	合計	69,901人	32,862便	68,159人	31,874便
名称	H26		H27																																																																
	利用者数	便数	利用者数	便数																																																															
河北地区住民バス	5,504人	1,714便	5,614人	1,656便																																																															
雄勝地区住民バス	10,859人	7,879便	10,426人	7,712便																																																															
河南地区乗合タクシー	4,796人	3,759便	4,312人	2,688便																																																															
桃生地区住民バス	4,457人	2,312便	6,283人	2,304便																																																															
北上地区住民バス	10,447人	1,452便	8,708人	1,452便																																																															
稲井地域乗合タクシー	10,302人	4,426便	9,384人	4,430便																																																															
萩浜地区住民バス	6,372人	1,456便	5,764人	1,456便																																																															
山の手地区乗合タクシー	10,405人	5,991便	10,388人	5,961便																																																															
水押・開北・大橋・水明地区乗合タクシー	6,759人	3,873便	7,280人	4,215便																																																															
合計	69,901人	32,862便	68,159人	31,874便																																																															
成果に係る評価		<p>住民バス及び乗合タクシーの運行により、移動手段を持たない高齢者等地域住民の足が確保されており、さらに、被災者支援を目的とした低廉な運賃での運行を継続して行うとともに一部路線で路線延長を行い、被災者の負担軽減及び利便性の向上が図られている。</p> <p>復興事業の進展により、交通需要に変化が生じていることから、市民の利便性を勘案し、路線再編を検討していくとともに、今後も地域住民の足として継続して運行する必要があることから、適切な運賃への改定が必要となる。</p>																																																																	
(単位：円)																																																																			
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																														
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																											
	82,423,000		81,629,971		27,762,993		10,000,000	43,866,978																																																											

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																										
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																										
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																										
実施計画掲載ページ		P100	中 事 業	社鹿地区市民バス運行事業費																													
事業コード	006-004-001-00012	事 業 名	社鹿地区市民バス運行事業〔地方創生先行型〕																														
目的及び事業内容		<p>移動手段を持たない高齢者等の通院・買物等の外出・移動を支援するため、網地島を含めた社鹿地区で市民バスの運行を実施する。 また、遠距離通学となる小学生の安全な通学手段を確保するために市民バスの活用を図る。</p>																															
取組実績		<p>下記路線において、市民バスの運行を実施した。 平成27年度より「寄磯～社鹿総合支所線」「泊～福祉パーク線」において土曜日の運行を開始した。</p> <p>運行概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th colspan="4">運行状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄磯～社鹿総合支所線</td> <td>平日 9便/日</td> <td>土曜日 4便/日</td> <td>日・祝日・年末年始は原則運休</td> <td></td> </tr> <tr> <td>泊～福祉パーク線</td> <td>平日 7便/日</td> <td>土曜日 4便/日</td> <td>日・祝日・年末年始は原則運休</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新山・泊～大原線</td> <td>平日 5便/日</td> <td>土・日・祝日・年末年始は原則運休</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>網地島線</td> <td>4便/日</td> <td>年末年始は運休</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							路線名	運行状況				寄磯～社鹿総合支所線	平日 9便/日	土曜日 4便/日	日・祝日・年末年始は原則運休		泊～福祉パーク線	平日 7便/日	土曜日 4便/日	日・祝日・年末年始は原則運休		新山・泊～大原線	平日 5便/日	土・日・祝日・年末年始は原則運休			網地島線	4便/日	年末年始は運休		
路線名	運行状況																																
寄磯～社鹿総合支所線	平日 9便/日	土曜日 4便/日	日・祝日・年末年始は原則運休																														
泊～福祉パーク線	平日 7便/日	土曜日 4便/日	日・祝日・年末年始は原則運休																														
新山・泊～大原線	平日 5便/日	土・日・祝日・年末年始は原則運休																															
網地島線	4便/日	年末年始は運休																															
成 果		<p>交通弱者となっている地域住民（特に高齢者）の移動手段が市民バスの運行により確保され、通院・買物等の日常生活上の外出・移動支援が図られた。また、スクールバスとしての機能を果たしており、小学生の安全な通学手段が確保できた。</p> <p>市民バス運行実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般利用</td> <td>15,789人</td> <td>17,827人</td> <td>17,229人</td> </tr> <tr> <td>教育目的利用</td> <td>11,520人</td> <td>9,704人</td> <td>9,321人</td> </tr> <tr> <td>利用者数合計</td> <td>27,309人</td> <td>27,531人</td> <td>26,550人</td> </tr> <tr> <td>運行便数</td> <td>6,627便</td> <td>6,697便</td> <td>7,068便</td> </tr> </tbody> </table>								H25	H26	H27	一般利用	15,789人	17,827人	17,229人	教育目的利用	11,520人	9,704人	9,321人	利用者数合計	27,309人	27,531人	26,550人	運行便数	6,627便	6,697便	7,068便					
	H25	H26	H27																														
一般利用	15,789人	17,827人	17,229人																														
教育目的利用	11,520人	9,704人	9,321人																														
利用者数合計	27,309人	27,531人	26,550人																														
運行便数	6,627便	6,697便	7,068便																														
成果に係る評価		<p>平成26年度に一旦増加した利用者であるが、平成27年度では土曜日運行を開始したものの利用者数は減少となった。地区内人口の減少によるものと考えられるが、高齢者を中心とした交通弱者の通院及び買物の移動手段として活用され、福祉の増進及び生活環境の向上に寄与できた。 また、小学生のスクールバスの利用を継続しているが、小学生の減少及び復興事業の進展から徒歩通学が可能となった児童もあり、利用者は減少傾向にあるが、小学生の安全な通学手段としての機能も確保されている。</p>																															
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	31,312,000	29,893,185	3,152,000		24,291,737	2,449,448																											

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																																																	
	1 項	総務管理費		第 4 節	だれもが利用しやすい、生活を支える公共交通を確保する		()																																																	
	9 目	地域交通費		(1)	だれもが移動可能な手段を確保する		()																																																	
実施計画掲載ページ		P99	中 事 業	地域交通対策関係費																																																				
事業コード	006-004-001-00010	事 業 名	路線バス運行維持対策補助事業																																																					
目的及び事業内容		<p>路線バスの運行主体（ミヤコーバス）に対して、運行費を補助し、移動手段を持たない市民の通院、通学、買い物等の交通手段を確保する。 また、合併前の旧市町を跨ぐ広域路線である国庫補助対象路線については、国、県と協調して補助を行っている。</p>																																																						
取組実績		<p>路線バスの運行主体に対して運行費を補助し、市内各エリアを結ぶ幹線バス路線と地域内を運行するバス路線の維持を行った。</p> <p>平成27年度路線別補助の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>系統数</th> <th>補助の別</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女川線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> <td>929,000円</td> </tr> <tr> <td>鮎川線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> <td>8,040,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻専修大学線</td> <td>2</td> <td>国庫補助路線、市単独補助路線</td> <td>8,457,542円</td> </tr> <tr> <td>石巻免許センター線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> <td>67円</td> </tr> <tr> <td>三陸線</td> <td>1</td> <td>国庫補助路線</td> <td>9,857,557円</td> </tr> <tr> <td>河南線</td> <td>2</td> <td>国庫補助路線、事業者自主運行路線</td> <td>3,931,835円</td> </tr> <tr> <td>石巻市内線</td> <td>1</td> <td>市単独補助路線</td> <td>2,251,000円</td> </tr> <tr> <td>日赤・渡波線</td> <td>3</td> <td>市単独補助路線、事業者自主運行路線</td> <td>1,925,000円</td> </tr> <tr> <td>中里線</td> <td>1</td> <td>市単独補助路線</td> <td>5,413,000円</td> </tr> <tr> <td>渡波線</td> <td>1</td> <td>市単独補助路線</td> <td>5,548,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>46,353,001円</td> </tr> </tbody> </table>							路線名	系統数	補助の別	補助金額	女川線	1	国庫補助路線	929,000円	鮎川線	1	国庫補助路線	8,040,000円	石巻専修大学線	2	国庫補助路線、市単独補助路線	8,457,542円	石巻免許センター線	1	国庫補助路線	67円	三陸線	1	国庫補助路線	9,857,557円	河南線	2	国庫補助路線、事業者自主運行路線	3,931,835円	石巻市内線	1	市単独補助路線	2,251,000円	日赤・渡波線	3	市単独補助路線、事業者自主運行路線	1,925,000円	中里線	1	市単独補助路線	5,413,000円	渡波線	1	市単独補助路線	5,548,000円	合計			46,353,001円
路線名	系統数	補助の別	補助金額																																																					
女川線	1	国庫補助路線	929,000円																																																					
鮎川線	1	国庫補助路線	8,040,000円																																																					
石巻専修大学線	2	国庫補助路線、市単独補助路線	8,457,542円																																																					
石巻免許センター線	1	国庫補助路線	67円																																																					
三陸線	1	国庫補助路線	9,857,557円																																																					
河南線	2	国庫補助路線、事業者自主運行路線	3,931,835円																																																					
石巻市内線	1	市単独補助路線	2,251,000円																																																					
日赤・渡波線	3	市単独補助路線、事業者自主運行路線	1,925,000円																																																					
中里線	1	市単独補助路線	5,413,000円																																																					
渡波線	1	市単独補助路線	5,548,000円																																																					
合計			46,353,001円																																																					
成 果		<p>一部利用者が増加している路線もあるが、乗車率が低下している路線が多く、全体的にも利用者減の影響が深刻である。しかし、いずれの路線も地域に欠かせない路線であり、路線バスの運行主体に運行費を補助することにより、安定した路線バスの運行が可能となり、高齢者等の交通手段が確保された。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線数</td> <td>10路線14系統</td> <td>10路線14系統</td> <td>10路線14系統</td> </tr> <tr> <td>うち国庫補助対象路線数</td> <td>6路線6系統</td> <td>6路線6系統</td> <td>6路線6系統</td> </tr> </tbody> </table>							年度	H25	H26	H27	路線数	10路線14系統	10路線14系統	10路線14系統	うち国庫補助対象路線数	6路線6系統	6路線6系統	6路線6系統																																				
年度	H25	H26	H27																																																					
路線数	10路線14系統	10路線14系統	10路線14系統																																																					
うち国庫補助対象路線数	6路線6系統	6路線6系統	6路線6系統																																																					
成果に係る評価		<p>乗車率が低下している路線が多いが、いずれの路線も地域にとって欠かせない路線であり、通院・通勤・通学・買物等の交通手段確保のためにも路線維持が必要である。 適切な路線維持、乗車率向上を図るため、復興事業の進展に伴い変化する居住エリアに対応した路線再編、利用状況を勘案したダイヤの設定などを総合交通戦略に基づき検討していく必要がある。 また、運賃体系についても分かりやすく利用しやすい運賃体系を構築し、利用者の増加につなげていく必要がある。</p>																																																						
(単位：円)																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
	49,062,000	46,353,001			36,402,893	9,950,108																																																		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第1章	ともに創る協働のまち	復興計画	()																			
	1 項	総務管理費		第2節	市民のまちづくりに対する関心を高める		()																			
	10 目	男女共同参画推進費		(3)	男女共同参画社会を構築する		()																			
実施計画掲載ページ		P 12	中 事 業	男女共同参画推進費																						
事業コード		001-002-003-00017	事 業 名	男女共同参画推進事業																						
<p>目的及び事業内容</p> <p>男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる「男女共同参画社会」の実現のため、男女共同参画啓発講演会や各種イベント、女性人材育成事業等を実施し、男女共同参画に関する理解や認識を深めるとともに、石巻市男女共同参画基本計画（第2次）の進行管理を行う。</p>																										
<p>取組実績</p> <p>1 石巻市男女共同参画基本計画（第2次計画期間：H23～H28）の進行管理を行い、各種事業に取り組んだ。</p> <p>2 市民及び市職員への啓発促進（講演会・セミナー等の開催）</p> <p>(1) 男女共同参画週間事業（平成27年6月23日～6月29日）講演会・PRカード配布、パネル展示等</p> <p>(2) 高校生のための人権教室（平成27年7月16日、12月10日、12月11日）石巻市立桜坂高校にて実施</p> <p>(3) 男女共創セミナー・父母セミナー（平成27年10月14日）※石巻市PTA協議会と共催</p> <p>(4) 仕事と介護の両立セミナー「介護離職を防ぐために・・・」（平成28年2月16日）※県と共催</p> <p>(5) 市職員研修「女性の力を仕事に活かすために」（平成28年3月3日）</p> <p>3 女性人材育成事業の実施（女性の能力向上を図るためのセミナー等）</p> <p>(1) 女性人材育成セミナー「輝け！ラプリーウーマン」（平成27年8月～10月 全6回）受講生：23人</p> <p>(2) 女性のための防災リーダー養成講座（平成27年11月～12月 全3回）受講生：32人</p> <p>(3) 女子キャリアアップ促進事業「印象力アップ講座」「女なら二足のわらじ講演会」参加者計：160名</p> <p>(4) 女性起業家育成セミナー「Eyes for Future by ランコム」（全20回）※NPO・企業と共催</p> <p>(5) おんなの井戸端会議Ⅳ「希望あふれる石巻・新しいまちづくり」※女性団体と共催</p> <p>4 暴力被害者に対する支援の実施</p> <p>(1) 女性のための面接相談（毎月第1・第3水曜日）※内閣府事業への協力</p> <p>(2) DV被害者等サポート講座（平成27年8月5日、10月7日）※県と共催 参加者計：50名</p>																										
<p>成 果</p> <p>女性リーダーを育成するためのセミナーや各種講演会等を実施し、女性の意識改革を行ったことで、女性人材リストへの登載者が17名増加し、人材リストの充実が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標：審議会等の女性委員の割合</th> <th rowspan="2">女性人材リスト登載者数</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>40.0%</td> <td>25.1%</td> <td>97人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>40.0%</td> <td>25.5%</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>40.0%</td> <td>25.5%</td> <td>137人</td> </tr> </tbody> </table>									区分	成果指標：審議会等の女性委員の割合		女性人材リスト登載者数	目標値	実績等	H25	40.0%	25.1%	97人	H26	40.0%	25.5%	120人	H27	40.0%	25.5%	137人
区分	成果指標：審議会等の女性委員の割合		女性人材リスト登載者数																							
	目標値	実績等																								
H25	40.0%	25.1%	97人																							
H26	40.0%	25.5%	120人																							
H27	40.0%	25.5%	137人																							
<p>成果に係る評価</p> <p>女性の人材育成は、個々の能力や意欲を引き出すことから始まるが、成果指標の審議会等の女性委員の割合が目標値に達せず、市主催事業のほかNPO団体や女性団体等と連携した事業にも取り組むなど、更なる女性の活躍促進に努める必要がある。また、女性が社会で活躍するためには、男性が家事や子育てに積極的に参加するなど、男性側の理解や意識改革も必要となるため、今後は女性を対象としたセミナーだけでなく、男女がともに支え合う社会の実現に繋がる様々な事業を展開する必要がある。</p>																										
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																					
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	1,972,000		1,463,943		700,000		763,000	943																		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																																																												
	1 項	総務管理費		第 節			()																																																												
	10 目	男女共同参画推進費		()			()																																																												
実施計画掲載ページ			中 事 業	男女共同参画推進費（緊急経済対策分）																																																															
事業コード			事 業 名	子育て参加促進事業〔地方創生先行型〕																																																															
<p>目的及び事業内容</p> <p>男性、父親、中学生を対象に、助産師会・NPO団体と連携し、子育て等の適切な知識を習得させ、体験を交えた実践的な事業を実施することで、仕事・家事・育児等を両立させる意識を醸成し、女性の社会進出や企業における女性の人材確保を推進するため、子育て世代を社会全体で支えるまちづくりを目指すことを目的とする。</p>																																																																			
<p>取組実績</p> <p>1 子育てパパ育成事業「イクメン講習会 ～備えあれば憂いなし～」 ※新規事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施日</th> <th>対象者</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 石巻イクメン講習会</td> <td>H27.7.6</td> <td>石巻信用金庫職員</td> <td>51名</td> </tr> <tr> <td>2 育MEN講習会</td> <td>H27.10.2</td> <td>市職員</td> <td>73名</td> </tr> <tr> <td>3 イクメン講習会</td> <td>H28.2.19</td> <td>市民</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計</td> <td>141名</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 親になるための教育事業 ※新規事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>実施日</th> <th>学年</th> <th>生徒数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 牡鹿中学校</td> <td>H27.10.15</td> <td>1・2年生</td> <td>36名</td> </tr> <tr> <td>2 門脇中学校</td> <td>H28.1.21</td> <td>1・2年生</td> <td>185名</td> </tr> <tr> <td>3 河南東中学校</td> <td>H28.1.21</td> <td>1・2年生</td> <td>184名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4 蛇田中学校</td> <td>H28.1.21</td> <td>2年生</td> <td>228名</td> </tr> <tr> <td>H28.1.28</td> <td>1年生</td> <td>230名</td> </tr> <tr> <td>5 渡波中学校</td> <td>H28.1.26</td> <td>1・2年生</td> <td>227名</td> </tr> <tr> <td>6 大須中学校</td> <td>H28.1.28</td> <td>全学年</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>7 桃生中学校</td> <td>H28.1.28</td> <td>2年生</td> <td>70名</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計</td> <td>1,166名</td> </tr> </tbody> </table>									事業名	実施日	対象者	参加人数	1 石巻イクメン講習会	H27.7.6	石巻信用金庫職員	51名	2 育MEN講習会	H27.10.2	市職員	73名	3 イクメン講習会	H28.2.19	市民	17名	計			141名	学校名	実施日	学年	生徒数	1 牡鹿中学校	H27.10.15	1・2年生	36名	2 門脇中学校	H28.1.21	1・2年生	185名	3 河南東中学校	H28.1.21	1・2年生	184名	4 蛇田中学校	H28.1.21	2年生	228名	H28.1.28	1年生	230名	5 渡波中学校	H28.1.26	1・2年生	227名	6 大須中学校	H28.1.28	全学年	6名	7 桃生中学校	H28.1.28	2年生	70名	計			1,166名
事業名	実施日	対象者	参加人数																																																																
1 石巻イクメン講習会	H27.7.6	石巻信用金庫職員	51名																																																																
2 育MEN講習会	H27.10.2	市職員	73名																																																																
3 イクメン講習会	H28.2.19	市民	17名																																																																
計			141名																																																																
学校名	実施日	学年	生徒数																																																																
1 牡鹿中学校	H27.10.15	1・2年生	36名																																																																
2 門脇中学校	H28.1.21	1・2年生	185名																																																																
3 河南東中学校	H28.1.21	1・2年生	184名																																																																
4 蛇田中学校	H28.1.21	2年生	228名																																																																
	H28.1.28	1年生	230名																																																																
5 渡波中学校	H28.1.26	1・2年生	227名																																																																
6 大須中学校	H28.1.28	全学年	6名																																																																
7 桃生中学校	H28.1.28	2年生	70名																																																																
計			1,166名																																																																
<p>成 果</p> <p>・子育てパパ育成事業 実践的な講義により、受講者のアンケート結果から、父親の育児参加の理解が得られたものと考えられる。</p> <p>・親になるための教育事業 講義だけでなく、妊婦ジャケットの着用や、赤ちゃん抱っこ体験により、命の大切さや妊婦の大変さを実感し、同時に妊産婦への思いやりの心も育まれ、将来の子育て世代に適切な知識の理解が図られた。</p>																																																																			
<p>成果に係る評価</p> <p>これまで育児参加が進まなかった男性や父親を対象とした「イクメン講習会」は、男性の意識改革を図るだけでなく、女性の社会進出に繋がる事業として非常に期待されるものである。また、中学生を対象とした「親になるための教育事業」では、実施後の生徒へのアンケート調査の結果、命の大切さや親になるためのイメージができたなど、高い評価が得られた。今後も引き続き実施し、子育て世代を社会全体で支えるまちづくりを目指す必要がある。</p>																																																																			
(単位：円)																																																																			
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																														
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																											
	1,000,000		1,000,000		1,000,000																																																														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	11 目	国際交流費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ	P 29		小 事 業	国際交流推進費				
事業コード	002-003-001-00585		事 業 名	チビタベッキア市との姉妹都市交流事業				
目的及び事業内容	<p>仙台藩主の使節として、支倉常長が1615年10月18日にイタリア・チビタベッキア市に上陸した歴史的な関係をきっかけに、昭和46年（1972年）10月12日に姉妹都市の盟約を締結している。先人の偉業を後世に伝えるとともに、両国との交流を深めながら国際的な人材育成を目的としている。</p> <p>また、新石巻市として平成25年7月8日に締結した盟約書に基づき、チビタベッキア市と本市における交流事業を実施する。</p>							
取組実績	<p>2015年は慶長遣欧使節団出帆400年記念の節目の年であり、イタリア・チビタベッキア市で盛大に行われた記念行事には、本市と石巻チビタベッキア文化交流協会から参加し、交流を行なった。また、それに先立ち、2015年7月にミラノ博覧会に参加する際に、2014年に就任したイタリア・チビタベッキア市長への表敬訪問を行い、今後の姉妹都市交流について協議を行なった。</p> <p>1 イタリア・チビタベッキア市表敬訪問 ○日程 H27.7.21(火)～7.27(月) 7日間(チビタベッキア市滞在日：7月23日) ○場所 イタリア・チビタベッキア市 他 ○内容 2014年6月8日に執行されたチビタベッキア市長選挙において、アントニオ・コッツォリーノ新市長が就任したため、市長表敬訪問を行い、今後の姉妹都市の交流意思確認等の協議を行なった。</p> <p>2 慶長遣欧使節団出帆400年記念事業 ○日程 H27.10.14(水)～10.21(水) 8日間 ○場所 イタリア・チビタベッキア市 他 ○内容 2015年は、支倉常長率いる慶長遣欧使節団がイタリアに到着してから400年に当たる年であり、チビタベッキア市に上陸した10月18日の記念日として、チビタベッキア市において盛大に開催された式典に市代表団3名と石巻チビタベッキア文化交流協会の市民訪問団が出席した。</p> <p>慶長遣欧使節団出帆400年記念事業では、市民訪問団を中心に日本食を調理し、チビタベッキア市民ヘユネスコ無形文化遺産(世界遺産)である「和食」の素晴らしさを伝え、市民同士での交流を図った。</p>							
成 果	<p>○イタリア・チビタベッキア市主催の慶長遣欧使節団出帆400年記念事業を通じ、姉妹都市としての理解を深め、相互間における文化、教育などの交流が図られた。</p> <p>○チビタベッキア市との今後の交流事業の進め方等の具体的な協議を行うことができた。</p> <p>○市民訪問団に補助金を交付することにより、慶長遣欧使節団出帆400年記念事業に参加可能となり、市民間交流が図られた。</p> <p>○補助金 交付団体名：石巻チビタベッキア文化交流協会 交付金額：70万円(70,000円×10人)</p>							
成果に係る評価	<p>今後も、姉妹都市締結のきっかけとなった支倉常長率いる慶長遣欧使節団の偉業を称えるとともに、両市のさらなる交流と友好関係を発展させるため、両市間で取り交わした盟約書に基づく交流事業計画の実現に向けて調整を行っていく。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	6,649,366		6,649,366				4,736,808	1,912,558

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()	
	11 目	国際交流費		(1)	広い視野を持つ人材をはぐくむ		()	
実施計画掲載ページ	P 27		小 事 業	国際交流推進費				
事業コード	002-003-001-00018		事 業 名	温州市との友好都市交流事業				
目的及び事業内容	<p>両市は、平和友好・平等互恵・長期安定・相互信頼の4原則に基づき、両市の友好関係を一層深めるため、文化・教育・スポーツなどの各分野において交流を行う。</p> <p>また、両市間の交流を図るなかで、異なる文化や価値観を理解し、友好都市としての信頼関係を築いていく。</p>							
取組実績	<p>平成18年11月5日に取り交わした「2007年から2016年までにおける両市の友好交流計画に関する議定書」に基づき、友好交流事業を実施する。</p> <p>平成27年度は、友好都市である中国浙江省温州市から「第1回いしのまき復興マラソン」への参加があり、下記のとおり交流事業を実施した。</p> <p>1. 温州市政府代表団 ○日程 H27.6.26(金)～H27.6.29(月) 4日間 ○場所 石巻市 ○内容 平成26年に友好都市締結30周年を迎えた中国浙江省温州市から「第1回いしのまき復興マラソン」への参加を目的とする温州市マラソン協会一行18名が来石し、更に温州市政府代表団3人も来石した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/26⇒温州市マラソン協会一行が来石 ・6/27⇒温州市政府代表団来石、市内視察(日和山公園・石ノ森萬画館)、聖火台除幕式参加、コース下見、交流会参加 ・6/28⇒いしのまき復興マラソン参加、市内にて買物(温州市政府代表団帰国) ・6/29⇒東京へ移動 							
成 果	<p>「第1回いしのまき復興マラソン」の参加を目的に来石したことにより、本市だけではなく、全国から集まった参加者との交流も深めることができ、多くの方々に本市と温州市が友好都市であることを周知できた。</p> <p>また、市内視察では、震災の被害が大きかった現状を知ってもらえることができただけでなく、震災時に温州市から頂いた支援の御礼を伝えることができ、相互の協力がより強固なものになった。</p>							
成果に係る評価	<p>「2007年から2016年までにおける両市の友好交流計画に関する議定書」を基に、長年にわたり交流を重ねていることにより、温州市の認知度が高まってきている。</p> <p>平成28年は「両市の友好交流計画に関する議定書」の更新の年であり、新たな議定書を取り交わせるよう、調整を行っていく。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	186,568		186,568				186,568	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の方でみんなで守る																
	11 目	国際交流費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援																
実施計画掲載ページ		P118	中 事 業		国際交流推進費																		
事業コード		001-201-004-00307	事 業 名		外国人相談窓口開設事業																		
目的及び事業内容 石巻市に暮らす外国人のための相談窓口を設置し、市政の情報提供、専門相談機関の紹介等を行い、外国人も安心して暮らせるまちづくりの推進を図る。 中国語、韓国語、英語、タガログ語の4言語に対応する外国人相談窓口を毎週、定期的に開設している。																							
取 組 実 績																							
<p>【開設状況】</p> <p>月曜：英語・タガログ語 火曜：中国語 木曜：韓国語 ※上記の曜日、それぞれ1名の外国人通訳が対応</p> <p>【開設場所】 石巻市復興政策部地域振興課内（市役所4階）</p> <p>【相談状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>実施年度</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>46件</td> <td>36件</td> <td>39件</td> </tr> </table> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政手続き（国民健康保険、子育て・教育関係、各種証明書の申請など） 被災後の生活状況 生活に係る悩み相談 各種情報提供 <p>※市内在住外国人の状況（各年度4月1日時点）</p> <table border="1"> <tr> <td>年 度</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>611人</td> <td>756人</td> <td>843人</td> </tr> </table>								実施年度	H25	H26	H27	相談件数	46件	36件	39件	年 度	H25	H26	H27	人 数	611人	756人	843人
実施年度	H25	H26	H27																				
相談件数	46件	36件	39件																				
年 度	H25	H26	H27																				
人 数	611人	756人	843人																				
成 果																							
震災の影響により減少した外国人住民が、震災前の水準に回復しつつある中において、情報提供や相談、各種専門機関へつなぐなどの対応を行い、外国人も安心して暮らせるまちづくりの推進が図られた。																							
成果に係る評価																							
相談内容として生活支援的な相談が多いが、今後は被災後の生活状況や震災の影響による心の相談等も予想されることから、今後も関係機関・部署との連携を図りながら対応していく必要がある。																							
（単位：円）																							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																		
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
	713,000		639,900					639,900															

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																																																				
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の方でみんなで守る																																																				
	11 目	国際交流費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援																																																				
実施計画掲載ページ		P118	中 事 業		国際交流推進費																																																						
事業コード		001-201-004-00308	事 業 名		日本語教室等開設事業																																																						
目的及び事業内容 ○目的 多文化共生社会推進へ向けて外国人住民及び日本人住民の相互理解を推進するとともに、言葉の壁によるコミュニケーション不足の解消を図ることを目的とする。 ○事業内容 日本語の学習支援として日本語教室を開催する団体に補助金を交付するとともに、日本文化や風習等をテーマに市内居住の外国人及び日本人が参加できる講座「じゃばNeeds塾」を開催した。																																																											
取 組 実 績																																																											
<p>1 外国人のための日本語学習支援教室への補助金交付</p> <p>・日本語支援教室</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>学習者数</td> <td>出身国数</td> <td>開講回数</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>30人</td> <td>11カ国</td> <td>37回</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>32人</td> <td>12カ国</td> <td>39回</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>39人</td> <td>13カ国</td> <td>41回</td> </tr> </table> <p>・日本語支援教室の他にも外国人向けの日本料理の教室や外国人を講師とした多国籍料理の教室等も実施した。</p> <p>2 「じゃばNeeds塾」の開催（全10回）</p> <p>参加者の国籍：フィリピン、インドネシア、タイ、マレーシア、中国他5カ国</p> <table border="1"> <tr> <td>第1回</td> <td>20人</td> <td>開講式&流しそうめん</td> <td>第6回</td> <td>10人</td> <td>茶道</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>14人</td> <td>浴衣の着付け</td> <td>第7回</td> <td>34人</td> <td>もちつき大会</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>11人</td> <td>友達づくり</td> <td>第8回</td> <td>8人</td> <td>警察署見学</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>6人</td> <td>華道</td> <td>第9回</td> <td>10人</td> <td>お寺見学</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>27人</td> <td>お国じまん</td> <td>第10回</td> <td>39人</td> <td>たらころう&郷土料理パーティー</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: right;">計 延べ 179人</td> </tr> </table>									学習者数	出身国数	開講回数	H25	30人	11カ国	37回	H26	32人	12カ国	39回	H27	39人	13カ国	41回	第1回	20人	開講式&流しそうめん	第6回	10人	茶道	第2回	14人	浴衣の着付け	第7回	34人	もちつき大会	第3回	11人	友達づくり	第8回	8人	警察署見学	第4回	6人	華道	第9回	10人	お寺見学	第5回	27人	お国じまん	第10回	39人	たらころう&郷土料理パーティー	計 延べ 179人					
	学習者数	出身国数	開講回数																																																								
H25	30人	11カ国	37回																																																								
H26	32人	12カ国	39回																																																								
H27	39人	13カ国	41回																																																								
第1回	20人	開講式&流しそうめん	第6回	10人	茶道																																																						
第2回	14人	浴衣の着付け	第7回	34人	もちつき大会																																																						
第3回	11人	友達づくり	第8回	8人	警察署見学																																																						
第4回	6人	華道	第9回	10人	お寺見学																																																						
第5回	27人	お国じまん	第10回	39人	たらころう&郷土料理パーティー																																																						
計 延べ 179人																																																											
成 果																																																											
1 外国人のための日本語学習支援教室への補助金交付 日本語教室を主催する団体への支援により、マンツーマンで個々のレベルに合わせた日本語学習が外国人を対象に実施されたとともに、交流の場がもたれた。																																																											
2 「じゃばNeeds塾」の開催 石巻市に住む外国人が、生活をする上で必要な知識、日本文化や風習を学びながら、外国人同士及び日本人住民との交流を図ることができた。また日本語を中心に他の言語も使用しながら、受講者が互いに交流を深めていた。																																																											
成果に係る評価																																																											
1 日本語学習支援教室は、受講生も多く、多方面にわたり受講生を支援していることから、日本語教室が少ない本市では、無くてはならない存在にある。 補助金の交付が引き続き必要であるとともに、増額も検討する時期に来ている。																																																											
2 「じゃばNeeds塾」は、単なる日本語学習に留まらず、体験型講座が受講者に好評であったことから、今後は技能実習生等にも参加を募り、外国人が住みやすい多文化共生社会へ近づきよう、事業を推進する。																																																											
（単位：円）																																																											
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																						
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																			
	375,332		375,332		101,000		113,332	161,000																																																			

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第4章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																																				
	1 項	総務管理費		第6節	日常の身近な安全性を高める		()																																																				
	14 目	交通安全対策費		(1)	交通事故の発生を防止する		()																																																				
実施計画掲載ページ		P77	中 事 業		交通安全対策費																																																						
事業コード		004-006-001-00002	事 業 名		交通安全推進事業																																																						
目的及び事業内容		<p>広く市民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、市民自身による交通事故防止に向けた取り組みを推進する。</p>																																																									
取組実績		<p>各種交通安全運動として下記の事業を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 月上旬</td> <td>新入生児童に対する交通事故防止</td> <td>ランドセルカバー、黄色い帽子の配布</td> </tr> <tr> <td>5 11 ~ 20</td> <td>春の交通安全運動</td> <td>広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導 大型店舗での店内放送による広報</td> </tr> <tr> <td>7 21 ~ 8/20</td> <td>夏の交通事故防止運動</td> <td>市報掲載による広報</td> </tr> <tr> <td>9 21 ~ 30</td> <td>秋の交通安全運動</td> <td>広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導 大型店舗での店内放送による広報</td> </tr> <tr> <td>10 1 ~ 1/31</td> <td>夕暮れ時の交通事故防止運動</td> <td>市報掲載による広報</td> </tr> <tr> <td>11 5</td> <td>高齢者安全運転推進協力者養成事業</td> <td>高齢ドライバー地域講習会</td> </tr> <tr> <td>11 18</td> <td>第46回 宮城県交通安全県民大会</td> <td>県民総参加による交通安全運動の推進 交通事故のない安全で快適な社会の実現</td> </tr> <tr> <td>12 1 ~ 3/31</td> <td>冬の安全運転1・2・3運動</td> <td>市報掲載による広報</td> </tr> <tr> <td>12 15 ~ 1/15</td> <td>年末年始の交通事故防止運動</td> <td>交通指導員等による街頭指導</td> </tr> </tbody> </table> <p>飲酒運転根絶活動として下記の事業を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5 11 ~ 20</td> <td>春の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動</td> <td>大型店舗での店内放送による広報 ラジオ石巻による広報</td> </tr> <tr> <td>5 22</td> <td>第9回 宮城県飲酒運転根絶県民大会</td> <td>飲酒運転根絶に関する意識を高める大会</td> </tr> <tr> <td>9 21 ~ 30</td> <td>秋の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動</td> <td>大型店舗での店内放送による広報 ラジオ石巻による広報</td> </tr> <tr> <td>9 25</td> <td>飲食店個別訪問</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12 22</td> <td>新聞広告掲載</td> <td>石巻日日新聞へ掲載</td> </tr> <tr> <td>12 30</td> <td>新聞広告掲載</td> <td>石巻かほくへ掲載</td> </tr> </tbody> </table>							月 日	事業名	事業内容	4 月上旬	新入生児童に対する交通事故防止	ランドセルカバー、黄色い帽子の配布	5 11 ~ 20	春の交通安全運動	広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導 大型店舗での店内放送による広報	7 21 ~ 8/20	夏の交通事故防止運動	市報掲載による広報	9 21 ~ 30	秋の交通安全運動	広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導 大型店舗での店内放送による広報	10 1 ~ 1/31	夕暮れ時の交通事故防止運動	市報掲載による広報	11 5	高齢者安全運転推進協力者養成事業	高齢ドライバー地域講習会	11 18	第46回 宮城県交通安全県民大会	県民総参加による交通安全運動の推進 交通事故のない安全で快適な社会の実現	12 1 ~ 3/31	冬の安全運転1・2・3運動	市報掲載による広報	12 15 ~ 1/15	年末年始の交通事故防止運動	交通指導員等による街頭指導	月 日	事業名	事業内容	5 11 ~ 20	春の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	大型店舗での店内放送による広報 ラジオ石巻による広報	5 22	第9回 宮城県飲酒運転根絶県民大会	飲酒運転根絶に関する意識を高める大会	9 21 ~ 30	秋の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	大型店舗での店内放送による広報 ラジオ石巻による広報	9 25	飲食店個別訪問		12 22	新聞広告掲載	石巻日日新聞へ掲載	12 30	新聞広告掲載	石巻かほくへ掲載
月 日	事業名	事業内容																																																									
4 月上旬	新入生児童に対する交通事故防止	ランドセルカバー、黄色い帽子の配布																																																									
5 11 ~ 20	春の交通安全運動	広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導 大型店舗での店内放送による広報																																																									
7 21 ~ 8/20	夏の交通事故防止運動	市報掲載による広報																																																									
9 21 ~ 30	秋の交通安全運動	広報車による広報活動 交通安全指導員等による街頭指導 大型店舗での店内放送による広報																																																									
10 1 ~ 1/31	夕暮れ時の交通事故防止運動	市報掲載による広報																																																									
11 5	高齢者安全運転推進協力者養成事業	高齢ドライバー地域講習会																																																									
11 18	第46回 宮城県交通安全県民大会	県民総参加による交通安全運動の推進 交通事故のない安全で快適な社会の実現																																																									
12 1 ~ 3/31	冬の安全運転1・2・3運動	市報掲載による広報																																																									
12 15 ~ 1/15	年末年始の交通事故防止運動	交通指導員等による街頭指導																																																									
月 日	事業名	事業内容																																																									
5 11 ~ 20	春の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	大型店舗での店内放送による広報 ラジオ石巻による広報																																																									
5 22	第9回 宮城県飲酒運転根絶県民大会	飲酒運転根絶に関する意識を高める大会																																																									
9 21 ~ 30	秋の交通安全運動に伴う飲酒運転根絶活動	大型店舗での店内放送による広報 ラジオ石巻による広報																																																									
9 25	飲食店個別訪問																																																										
12 22	新聞広告掲載	石巻日日新聞へ掲載																																																									
12 30	新聞広告掲載	石巻かほくへ掲載																																																									
成 果		<p>春季及び秋季の交通安全運動のほか、石巻市交通安全都市推進協議会等の関係機関・団体との連携により、子どもと高齢者の交通事故防止を推進し、飲酒運転根絶に向け市民に対し交通安全意識の高揚が図られ、安全安心な交通社会への実現に寄与した。</p>																																																									
成果に係る評価		<p>飲酒運転根絶及び交通事故防止に向けた活動を行っているが、根絶には至っていない。そのため、飲酒運転根絶及び交通事故防止の達成に向け、啓発活動を重点に事業を推進していく必要がある。</p>																																																									
(単位：円)																																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																					
	2,400,000	2,400,000	250,000			2,150,000																																																					

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()																																	
	1 項	総務管理費		第 節			()																																	
	16 目	情報プラザ運営費		()			()																																	
実施計画掲載ページ			中 事 業		情報プラザ関係費																																			
事業コード			事 業 名		情報プラザ運営事業																																			
目的及び事業内容		<p>市民のコンピュータリテラシーの習得を推進・支援し、市民生活の利便性を向上させ、魅力的な地域社会の貢献に寄与する。</p>																																						
取組実績		<p>1 パソコン初心者への施設利用者に対して、積極的にマンツーマン指導、助言を行い、一般利用者（市民）がより利用しやすい環境整備を図った。 2 パソコン初心者～中級者を対象に、恒常的にパソコンセミナーを開催し、コンピュータリテラシーの向上を図った。 3 市民のインターネット環境充実のためのプロバイダー業務を推進し、ユーザーに対し適切なサービスの提供を図った。 4 放送大学宮城学習センター石巻視聴学習室（再視聴施設）を設置しており、生涯学習課と連携しながら再視聴や教材貸出しの受付事務を行った。</p>																																						
成 果		<p>市民が身近にパソコンと触れ合う場として施設・サービスを提供することにより、魅力的な地域社会に貢献し、市民のICT環境の整備が図られた。</p> <p>主な情報プラザ利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCセミナー等利用者</td> <td>1,292人</td> <td>1,146人</td> <td>1,269人</td> </tr> <tr> <td>情報プラザ主催事業</td> <td>731人</td> <td>840人</td> <td>1,043人</td> </tr> <tr> <td>その他主催事業</td> <td>561人</td> <td>306人</td> <td>226人</td> </tr> <tr> <td>インターネット外部接続利用者</td> <td>222人</td> <td>208人</td> <td>197人</td> </tr> <tr> <td>ネットデッキ利用者（インターネット）</td> <td>445人</td> <td>482人</td> <td>477人</td> </tr> <tr> <td>放送大学利用者</td> <td>131人</td> <td>155人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,090人</td> <td>1,991人</td> <td>1,943人</td> </tr> </tbody> </table>							区分	H25	H26	H27	PCセミナー等利用者	1,292人	1,146人	1,269人	情報プラザ主催事業	731人	840人	1,043人	その他主催事業	561人	306人	226人	インターネット外部接続利用者	222人	208人	197人	ネットデッキ利用者（インターネット）	445人	482人	477人	放送大学利用者	131人	155人	0人	合計	2,090人	1,991人	1,943人
区分	H25	H26	H27																																					
PCセミナー等利用者	1,292人	1,146人	1,269人																																					
情報プラザ主催事業	731人	840人	1,043人																																					
その他主催事業	561人	306人	226人																																					
インターネット外部接続利用者	222人	208人	197人																																					
ネットデッキ利用者（インターネット）	445人	482人	477人																																					
放送大学利用者	131人	155人	0人																																					
合計	2,090人	1,991人	1,943人																																					
成果に係る評価		<p>PCセミナーを含めた施設全体での利用者数は、前年度に比べて僅かに減少傾向である。情報プラザ主催事業に関しては、1対1でのセミナーに特に力を入れて取り組み、定期的に大人数でのセミナーを行うなどして、利用者数を増加させた。インターネット接続利用者が平成25年度以降減少しているのは、民間プロバイダ事業者への変更が増加傾向にあることが推察できる。これは固定電話とスマートフォンのセット契約といった料金形態にかなりの値ごろ感があり、利用者の動向が反映しているものと考えられる。ネットデッキ利用者は、平成26年度と比較すると減少しているが、これは各家庭におけるインターネット接続環境が整ってきていることが推察できる。しかしながら、平成25年度よりも僅かに増加しており、施設として役割を果たしているものと考えられる。今後もセミナー等について引き続き広く周知をはかり、利用者の増加と市民のコンピュータリテラシーに結びつけたい。</p>																																						
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	45,791,476	42,864,372			1,705,600	41,158,772																																		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手はぐくむまち	復興計画	()																																						
	1 項	総務管理費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する		()																																						
	26 目	諸費		(1)	広い視野を持つ人材を はぐくむ		()																																						
実施計画掲載ページ		P 28	中 事 業		非核平和都市推進費																																								
事業コード		002-003-001-00022	事 業 名		非核平和推進人材育成事業																																								
目的及び事業内容		市の将来を担う中学生を対象に、核兵器が人類に及ぼした悲惨な現実と平和の尊さを学ぶため、広島市が主催する平和記念式典等に参加する中学生派遣事業及び市内中学校において原爆被爆者を講師とした被爆体験者講話を実施し、恒久平和に貢献する人材の育成を図る。																																											
取組実績		<p>1 非核平和推進人材育成事業の実施</p> <p>(1) 平和記念式典等への中学生派遣事業 研 修 先：広島市 日 時：平成27年8月5日（水）～7日（金） 市内中学生6名 研修内容：平和記念式典への参加、被爆体験者講話、平和記念資料館視察等を行った。</p> <p>(2) 被爆体験者講話 参 加 者：飯野川中学校全校生徒106名 日 時：平成27年11月18日（水）午後2時～午後3時30分 内 容：（公財）広島平和文化センター被爆体験証言者の李 鐘根氏を講師に招き、「これから生きるみんなに伝えたいこと」～在日韓国人二世の被爆証言～をテーマとして、講演会を開催した。</p>																																											
成 果		<p>市の将来を担う中学生が、広島市が主催する平和記念式典等への参加や、被爆体験者講話を通して平和の尊さを学ぶことにより、非核平和に対する啓発や恒久平和に貢献できる人材の育成が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分</th> <th colspan="3">平和記念式典等への中学生派遣事業</th> <th colspan="2">被爆体験者講話</th> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標：研修参加人数</th> <th rowspan="2">達成率等</th> <th rowspan="2">講話参加人数</th> <th rowspan="2">実施校</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>60人</td> <td>河南西中学校 2年生</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>96人</td> <td>石巻中学校 1年生</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>8人</td> <td>8人</td> <td>100 %</td> <td>70人</td> <td>桃生中学校 1年生</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>100 %</td> <td>106人</td> <td>飯野川中学校 1～3年生</td> </tr> </tbody> </table>							区分	平和記念式典等への中学生派遣事業			被爆体験者講話		成果指標：研修参加人数		達成率等	講話参加人数	実施校	目標値	実績値	H24	—	—	—	60人	河南西中学校 2年生	H25	—	—	—	96人	石巻中学校 1年生	H26	8人	8人	100 %	70人	桃生中学校 1年生	H27	6人	6人	100 %	106人	飯野川中学校 1～3年生
区分	平和記念式典等への中学生派遣事業			被爆体験者講話																																									
	成果指標：研修参加人数		達成率等	講話参加人数	実施校																																								
	目標値	実績値																																											
H24	—	—	—	60人	河南西中学校 2年生																																								
H25	—	—	—	96人	石巻中学校 1年生																																								
H26	8人	8人	100 %	70人	桃生中学校 1年生																																								
H27	6人	6人	100 %	106人	飯野川中学校 1～3年生																																								
成果に係る評価		平和記念式典等派遣事業参加者は、広島市が主催する平和記念式典等への参加を通して、平和の尊さを学び、研修終了後は、自校において文化祭で研修内容を発表し、広く啓発活動を行った。また、被爆体験者の講話により、戦争の恐ろしさ、悲惨さを学ぶ機会を提供した。 本事業を通して、非核平和に対する啓発や恒久平和に貢献できる人材の育成に資することができた。平和の尊さ、戦争の悲惨さを後世に伝えるため、本事業により、恒久平和に貢献できる人材の育成を図っていくこととしたい。																																											
(単位：円)																																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																							
	1,233,000	1,139,850				1,139,850																																							

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 節			()	
	27 目	東日本大震災関係費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業		新駅整備関係費			
事業コード			事 業 名		新駅整備事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容		<p>仙石線陸前赤井駅と蛇田駅間に新駅（石巻あゆみ野駅）を整備する。 また、新蛇田南地区被災市街地復興土地区画整理事業と一体的に整備することにより、被災者のほか、周辺住民、通勤・通学者の交通手段の確保と当該地域の発展を図り、生活環境の向上に寄与する。</p>						
取組実績		<p>新駅整備に向け、JR及び宮城県と協議を重ね平成27年4月に新駅設置に関する工事の施行に係る協定締結、6月に駅設備等改修工事の施行に係る協定締結により新駅を整備し、平成28年3月に石巻あゆみ野駅が開業した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年4月 JRと新駅設置に関する工事の施行に係る協定を締結した。 平成27年6月 JRと新駅設置に関する駅設備等改修工事の施行に係る協定を締結した。 平成27年8月 JRと新駅駅舎建設用地の無償譲渡の契約を締結した。 平成28年3月 石巻あゆみ野駅が開業した。 						
成 果		石巻あゆみ野駅が開業したことにより、新市街地へ移転される方々をはじめ、今後、多くの方々の交通の利便性向上が図られる。						
成果に係る評価		計画どおりに事業が実施され、本事業の目的が達成された。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	443,552,000	443,551,448	84,021,000			359,530,448		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 節			()	
	27 目	東日本大震災関係費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	震災復興計画推進関係費				
事業コード			事 業 名	半島中心部上物施設基本計画策定業務〔復興交付金〕				
目的及び事業内容		雄勝、北上、牡鹿の被災公共施設等について、各地域の中心部に集約して整備を行うに当たり、体系的なまちづくり方針等を踏まえ、施設ごとの基本計画を策定するもの。						
取 組 実 績		関係機関等にヒアリングを行い、各施設の基本計画を取りまとめた。						
成 果		<p>各地区、以下の施設の基本計画を策定した。</p> <p><雄勝（伊勢畑）></p> <ul style="list-style-type: none"> 総合支所 消防署出張所 体育館、艇庫、グラウンド 雄勝現伝産業会館 観光物産交流施設 <p><北上（にっこり団地）></p> <ul style="list-style-type: none"> 総合支所 消防署出張所 こども園 <p><牡鹿（鮎川）></p> <ul style="list-style-type: none"> おしかホエールランド 観光物産交流施設 						
成果に係る評価		基本設計以降については、関係部署との連携を密に進める必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	20,856,000	20,854,800			16,682,000	4,172,800		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	総務管理費		第 節			()	
	27 目	東日本大震災関係費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	震災復興計画推進関係費				
事業コード			事 業 名	半島部跡地計画策定事業〔復興交付金〕				
目的及び事業内容		半島沿岸部の低平地に所在していた集落は、東日本大震災に伴う津波で甚大な被害を受け、被災者の住まひは防災集団移転促進事業等により、安全な内陸等へと移転することとしている。それに伴い、被災を受けた跡地（以下「低平地」という。）は、土地利用の再編を迫られていることから、防災集団移転促進事業により購入する被災跡地を含めた低平地全体の将来的な利用の在り方を検討し、被災者の住生活だけでなく、真なる復興を成し遂げるための跡地計画を策定する。						
取 組 実 績		<p>本市の半島沿岸部については、約1mの広域地盤沈下により排水不良が生じており、排水不良を解消するための盛土造成や排水施設等の整備を行う「低平地整備」を行うこととしている。</p> <p>また、「低平地整備」では、防災集団移転促進事業により買取りを行った用地を活用し、地元が維持管理を行う「コミュニティ広場」や、砂浜資源を生かした観光交流広場等公共施設の整備を行い、持続可能な集落づくりを進めることとしている。</p> <p>そのため、主に、「排水対策及び地元活用を促す公共施設整備に係る事業手法の確立」及び「住民意見を聴取する住民懇談会の開催」を進めた。</p> <p><主な取組></p> <p>4月～3月 住民懇談会の開催（各集落2回程度）</p> <p>12月～3月 コミュニティ広場整備にかかる住民説明会の開催</p>						
成 果		<p><事業手法の確立></p> <p>これまで、低平地を整備できる事業手法（復興交付金）は「漁業集落防災機能強化事業」に限られており、本事業では、共同利用に伴う公共施設整備しかできなかったため、低平地の事業計画を検討することが困難であったが、「防災集団移転促進事業により発生した残土を活用した宅地かさ上げや、道路・水路の再整備」及び「地元住民等が維持管理するコミュニティ広場」等の整備について、復興交付金効果促進事業により実施することが認められたため、地元住民が望む事業の実施が可能となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 防集残土を活用した盛土造成に伴う支障物撤去事業及び道路・水路整備に係る工事費 <ul style="list-style-type: none"> → 実施予定地区49地区のうち46地区で工事費を獲得 ○ コミュニティ広場の具体的な事業手法の確立 <p><住民懇談会の実施></p> <p>低平地の排水対策及び今後の土地利用に係る住民懇談会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業実施予定地区49地区のうち11地区を除いて完了 <p><広場整備にかかる住民説明会の開催></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本庁半島部、雄勝、北上地区においては、各地区区長向けの説明会を開催 ○ 牡鹿地区については、個別に訪問し各地区の必要性を確認 <ul style="list-style-type: none"> → 財源の獲得に向け復興庁と協議中 						
成果に係る評価		防災集団移転促進事業等により買い取った用地について、将来的な維持管理経費を縮減するためには、恒久的な排水対策を講じつつ、積極的な地元活用を促すことが重要であり、地元利用に対する懇談会を継続開催し、地元のニーズを最大限勘案した整備計画を策定の上、防災集団移転促進事業跡地の地元利用を促した。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	109,084,354	97,645,807			78,111,000	19,534,807		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり										
	1 項	総務管理費					(3)	減災まちづくりの推進										
	27 目	東日本大震災関係費					(3)	新エネルギー等の活用										
実施計画掲載ページ		P143	中 事 業		スマートコミュニティ推進事業費													
事業コード		001-303-001-00946	事 業 名		スマートコミュニティ推進事業													
目的及び事業内容		本市では、「安全・安心」で「環境にやさしい」まちづくりを目的に、再生可能エネルギーやICTを活用したスマートコミュニティ推進事業に取り組んでいる。同事業においては、有事の際に避難所となる公共施設に導入された太陽光発電設備、蓄電池をエネルギー管理システムで総合管理し、エネルギーの見える化モニタにより、地域のエネルギー情報を見える化する取組を実施している。このような取組から「災害に強く環境にやさしいまちづくり」の実現を図る。																
取組実績		<p>1 機器整備</p> <p>(1) 新蛇田地区（スマートコミュニティ推進事業モデル地区）へのMEMS（マンションのエネルギー管理システム）、HEMS（宅内のエネルギー管理システム）を導入</p> <p>(2) 有事の際に避難所となる公共施設にBEMS（ビルのエネルギー管理システム）を導入</p> <p>(3) 新蛇田地区の復興住宅へ入居される方へスマートコミュニティ推進事業の説明を実施</p> <p>(4) 環境にやさしい移動手段として公用車（電気自動車）を導入</p> <p>2 スクールデマンドレスポンスの実施（先行実施）</p> <p>(1) 本事業で整備した機器（太陽光発電設備、蓄電池、BEMS、エネルギーの見える化モニタ）を活用し、石巻市の未来を担う子どもたちの環境意識の醸成を図ることを目的に、毎月1日を「省エネの日」と設定し、市内の小中学校、高等学校で節電の取組を実施することを開始。機器の整備が完了した10校でモデル的に先行実施を行った。</p> <p>(2) 先行実施で得られた知見をもとに、取組手法を精査し、次年度から取組を実施予定の学校向けに説明会を開催</p>																
成 果		<p>1 機器整備</p> <p>平成27年度は、資源エネルギー庁のスマートコミュニティ導入促進補助金の補助期間の最終年度であることから、ハード整備の集中整備期間の最終年度として位置付け、BEMSの設置を進めた。また、スマートコミュニティ推進事業のモデル地区となっている新蛇田地区の復興住宅へMEMS及びHEMSの整備を実施し、住民に対し周知を図った。</p> <p>さらに、県の「みやぎ環境交付金」を活用し、公用車（電気自動車）の導入を実施した。</p> <p>【導入実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>BEMS</th> <th>MEMS</th> <th>HEMS</th> <th>電気自動車</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>27か所</td> <td>9棟</td> <td>515戸</td> <td>1台</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 スクールデマンドレスポンスの実施（先行実施）</p> <p>モデル的に先行実施したことで様々な知見を得ることができた。次年度以降は機器整備が完了する学校数が増加する見込みのため、本格実施に向けて取組手法等を分析し、整備した機器の有効活用を図るよう引き続き取組を継続していく。</p>							区分	BEMS	MEMS	HEMS	電気自動車	H27	27か所	9棟	515戸	1台
区分	BEMS	MEMS	HEMS	電気自動車														
H27	27か所	9棟	515戸	1台														
成果に係る評価		機器整備に関しては、関係企業・団体等との協働により事業の実施を速やかに進められたことから、整備を予定していた全ての施設へ遅延なく全ての設備を導入することができた。また、スクールデマンドレスポンスの実施に当たっては、先行実施で得られた知見をもとに取組手法を精査し、次年度から取組を実施予定の学校に対し説明会を開催するなど、継続実施に向けた下地作りを行うことができた。																
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	5,578,000	4,361,085	2,927,673			1,433,412												

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章		復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり									
	1 項	総務管理費					(2)	地域のかでみんなで守る									
	27 目	東日本大震災関係費					(1)	地域コミュニティの再生支援									
実施計画掲載ページ		P118	中 事 業		地域自治システム関係費												
事業コード		001-201-005-00310	事 業 名		地域自治システム構築支援事業〔復興基金〕												
目的及び事業内容		地域の特徴を生かした地域住民自身の意思に基づくまちづくりや住民自治の確立を目指し、市民と行政が協働のまちづくりを進めていくため地域自治システムを構築する。															
取組実績		<p>地域自治システムサポート事業により、住民自治組織設立支援を実施した。地域の創意と工夫、判断と責任を尊重し、市民と行政の協働による魅力あるまちづくりを推進するとともに、住民自治組織の円滑な運営と個性あふれる地域づくりを支援するため、石巻市住民自治組織交付金を交付した。地域自治システムの推進には、住民はもとより行政も協働への理解を深める必要があるため職員研修を実施した。</p> <p>【事業内容】</p> <p>1 地域自治システムサポート事業</p> <p>実施内容：地域自治システムの取組を進める地区内の町内会、各種団体の関係者、NPO団体及びまちづくりに積極的に関わる住民等で構成される団体等の対話をサポートし、情報の共有や地域課題の抽出及び課題解決に必要な地域力・地域資源とのコーディネート等を行い、設立準備組織団体および設立団体のサポートを実施した。</p> <p>実施地区：桃生地区</p> <p>2 住民自治組織交付金</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>河南地区</td> <td>河南地域住民自治協議会</td> <td>交付額：2,352,000円</td> </tr> <tr> <td>山下地区</td> <td>山下地区協働のまちづくり協議会</td> <td>交付額：1,027,640円</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>ものう夢ネットワーク</td> <td>交付額：999,857円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 地域自治システム職員研修会</p> <p>研修講師：株式会社山崎亮事務所 代表 山崎亮（studio-L代表、東北芸術工科大学教授）</p> <p>研修内容：課長補佐以上の職員を対象とし、講師がコミュニティデザイナーとして実際に携わった島根県海士町におけるまちづくり等を題材に「協働」について講話をいただいた。</p> <p>参加人数：76人</p>							河南地区	河南地域住民自治協議会	交付額：2,352,000円	山下地区	山下地区協働のまちづくり協議会	交付額：1,027,640円	桃生地区	ものう夢ネットワーク	交付額：999,857円
河南地区	河南地域住民自治協議会	交付額：2,352,000円															
山下地区	山下地区協働のまちづくり協議会	交付額：1,027,640円															
桃生地区	ものう夢ネットワーク	交付額：999,857円															
成 果		高齢化社会の進展とともに、地域の担い手不足等が深刻化している中、東日本大震災による影響もあり、単位町内会等による取組が困難な地域課題について、ある程度の地域規模において多様な参加主体による地域活動の実施により、地域の課題解決及び活性化が図られた。また、今年度発足したもののう夢ネットワークへサポート事業を実施したことにより、安定的な事務局運営及び人材育成が図られた。職員研修については、出席者に対するアンケートを集約した結果、研修の満足度について満足以上の回答が92.5%を占め、協働への理解が大いに深まったと言える。															
成果に係る評価		行政サービスだけでは解決できない地域課題に対し、安定した住民生活と暮らしやすい地域社会の実現に向けて、住民と行政の協働が求められている中、地域が自立した地域経営や地域活動を行うためには、交付金の有効活用と自主財源の獲得、組織の拠点となる場所が必要である。しかし、震災により地区集落等が崩壊したため、復旧・復興を優先せざるを得ない地域もあり、一律に全地区に自治システムを構築することは難しいが、地域が取り組む意識が高まった際にスムーズな展開が図られるよう、全職員が地域自治システムをはじめとした「協働」について理解の深化を図りながら、協働のまちづくりを推進する必要がある。また、復興事業が進む中、「協働」に対する住民の理解も得ながら進める必要がある。															
(単位：円)																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
	9,400,000	8,029,337				8,029,337											

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																																																												
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の方でみんなで守る																																																												
	27 目	東日本大震災関係費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援																																																												
実施計画掲載ページ		P117	中 事 業	地域コミュニティ再生関係費																																																															
事業コード	001-201-003-00305	事 業 名	コミュニティ形成支援補助事業〔復興基金〕																																																																
目的及び事業内容	震災の影響で町内会等による祭りなどのイベント等の開催が自粛され、コミュニケーションづくりの場が少なくなっていることから、住民主体で開催する交流事業やイベントなどの事業に助成を行い、町内会組織等の再生と仮設住宅団地及び復興公営住宅入居者のコミュニケーションづくりやコミュニティの育成促進を図る。																																																																		
取組実績	<p>市内に設立されている町内会や仮設住宅団地の自治会組織等の住民自治組織等に対し、1団体年1回10万円を限度として補助金を交付した。また、平成27年度からの追加事業として復興公営住宅の入居者と周辺住民との交流会等に1復興公営住宅につき1回限り10万円を限度とし、補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">一般分</th> <th colspan="3">復興公営住宅分</th> </tr> <tr> <th>地区名</th> <th>件数</th> <th>補助金交付額</th> <th>地区名</th> <th>件数</th> <th>補助金交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻</td> <td>93件</td> <td>8,853,243円</td> <td>石巻</td> <td>6件</td> <td>591,247円</td> </tr> <tr> <td>河北</td> <td>15件</td> <td>1,500,000円</td> <td>河北</td> <td>1件</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>雄勝</td> <td>2件</td> <td>188,896円</td> <td>河南</td> <td>1件</td> <td>82,759円</td> </tr> <tr> <td>河南</td> <td>25件</td> <td>2,441,696円</td> <td>計</td> <td>8件</td> <td>774,006円</td> </tr> <tr> <td>桃生</td> <td>10件</td> <td>859,659円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>北上</td> <td>3件</td> <td>267,898円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>牡鹿</td> <td>1件</td> <td>100,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>149件</td> <td>14,211,392円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							一般分			復興公営住宅分			地区名	件数	補助金交付額	地区名	件数	補助金交付額	石巻	93件	8,853,243円	石巻	6件	591,247円	河北	15件	1,500,000円	河北	1件	100,000円	雄勝	2件	188,896円	河南	1件	82,759円	河南	25件	2,441,696円	計	8件	774,006円	桃生	10件	859,659円				北上	3件	267,898円				牡鹿	1件	100,000円				計	149件	14,211,392円			
一般分			復興公営住宅分																																																																
地区名	件数	補助金交付額	地区名	件数	補助金交付額																																																														
石巻	93件	8,853,243円	石巻	6件	591,247円																																																														
河北	15件	1,500,000円	河北	1件	100,000円																																																														
雄勝	2件	188,896円	河南	1件	82,759円																																																														
河南	25件	2,441,696円	計	8件	774,006円																																																														
桃生	10件	859,659円																																																																	
北上	3件	267,898円																																																																	
牡鹿	1件	100,000円																																																																	
計	149件	14,211,392円																																																																	
成 果	町内会等の住民主体によるイベントや隣接町内会合同での交流事業が各地で開催され、地域のコミュニティ形成が推進された。さらに、復興公営住宅入居者及び周辺住民の交流事業も開催され、地域づくりのためのコミュニケーションづくりの一助となった。主な事業内容は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> 夏まつり（盆踊り）等 レクリエーション大会 清掃活動等の地域づくり 植栽活動 芋煮会 敬老行事 スポーツ大会 親睦旅行 講演、講座等の開催 世代間交流事業 町内会合同の交流会 復興住宅入居者歓迎会 																																																																		
成果に係る評価	復興も進みコミュニティ活動を再開し始める地域が増えており、広報や市のホームページ等での周知、町内会連合会総会、行政委員会、区長会等の会議における説明や視覚的にわかりやすいチラシの作成・配布により前年度よりもさらに28件増となった。また、復興公営住宅入居者と周辺住民の交流活動によって、既存の町内会との融合も図られた。しかし、今後も地域社会の恒久的なコミュニティを形成していくためには、継続的な地域コミュニティ活動が不可欠であることから、地域コミュニティ活動を積極的に推進していく事業に対し、引き続き支援を行っていく必要がある。																																																																		
(単位：円)																																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																													
	16,200,000	14,985,398			14,985,398																																																														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																																																																																																				
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の方でみんなで守る																																																																																																				
	27 目	東日本大震災関係費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援																																																																																																				
実施計画掲載ページ		P117	中 事 業	地域コミュニティ再生関係費																																																																																																							
事業コード	001-201-003-00306	事 業 名	集会所等コミュニティ施設復旧整備事業〔復興基金〕																																																																																																								
目的及び事業内容	【目的】 市民と行政の協働のまちづくりを図る。 【内容】 東日本大震災により被災した集会所の新築、改築、増築、改修事業への助成や集会所として使用する目的である既存建物・土地の取得事業への助成																																																																																																										
取組実績	<p>○被災集会所の新築及び改修事業（石巻市東日本大震災被災集会所建設費等補助金） 【新築10件】 石巻3件、雄勝5件、北上1件、牡鹿1件 【改修 2件】 石巻2件 【備品29件】 新築集会所10件、災害復興住宅集会所19件</p> <p>○被災集会所の新築事業等（被災地域交流拠点施設整備事業補助金） 【新築 4件】 石巻2件、河北1件、雄勝1件 【交流活動1件】 雄勝1件</p>																																																																																																										
成 果	<p>東日本大震災により被災した地区集会所を整備することにより、地域住民活動の拠点が整備されるとともに、既存コミュニティの再生と新たなコミュニティ組織づくりの推進が図られた。</p> <p>○石巻市東日本大震災被災集会所建設費等補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>集会所名</th> <th>事業区分</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>竹浜集会所（石巻）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>14,150,000円</td> <td>14,150,000円</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>鹿立浜集会所（石巻）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>18,179,000円</td> <td>18,179,000円</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>大門町三・四丁目集会所（石巻）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>24,378,168円</td> <td>24,377,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>開北会館（石巻）</td> <td>改修</td> <td>2,052,000円</td> <td>2,000,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>沢田会館（石巻）</td> <td>改修</td> <td>1,550,000円</td> <td>1,550,000円</td> <td>全額</td> </tr> <tr> <td>熊沢コミュニティセンター（雄勝）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>22,521,564円</td> <td>22,191,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>大浜親和会館（雄勝）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>21,381,840円</td> <td>19,747,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>小島集会所（雄勝）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>20,396,880円</td> <td>20,382,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>明神集会所（雄勝）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>21,436,184円</td> <td>21,300,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>味噌作原集会所（雄勝）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>20,865,546円</td> <td>20,780,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>小室地区集会所（北上）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>21,890,520円</td> <td>21,884,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>十八成自治会集会所（牡鹿）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>26,400,000円</td> <td>26,393,000円</td> <td>上限</td> </tr> <tr> <td>災害復興住宅集会所19件</td> <td>初期備品</td> <td>-</td> <td>9,498,540円</td> <td>上限</td> </tr> </tbody> </table> <p>○被災地域交流拠点施設整備事業補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>集会所名</th> <th>事業区分</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>タイプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桃浦集会所（石巻）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>23,976,000円</td> <td>23,976,000円</td> <td>小規模タイプ</td> </tr> <tr> <td>月浦集会所（石巻）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>21,254,400円</td> <td>21,254,400円</td> <td>小規模タイプ</td> </tr> <tr> <td>横川公民館（河北）</td> <td>新築</td> <td>28,080,000円</td> <td>25,000,000円</td> <td>小規模タイプ</td> </tr> <tr> <td>水浜漁村センター（雄勝）</td> <td>新築・初期備品</td> <td>26,000,314円</td> <td>25,000,000円</td> <td>小規模タイプ</td> </tr> <tr> <td>波板地域交流センター（雄勝）</td> <td>交流活動</td> <td>1,048,422円</td> <td>830,760円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							集会所名	事業区分	事業費	補助金額	割合	竹浜集会所（石巻）	新築・初期備品	14,150,000円	14,150,000円	全額	鹿立浜集会所（石巻）	新築・初期備品	18,179,000円	18,179,000円	全額	大門町三・四丁目集会所（石巻）	新築・初期備品	24,378,168円	24,377,000円	上限	開北会館（石巻）	改修	2,052,000円	2,000,000円	上限	沢田会館（石巻）	改修	1,550,000円	1,550,000円	全額	熊沢コミュニティセンター（雄勝）	新築・初期備品	22,521,564円	22,191,000円	上限	大浜親和会館（雄勝）	新築・初期備品	21,381,840円	19,747,000円	上限	小島集会所（雄勝）	新築・初期備品	20,396,880円	20,382,000円	上限	明神集会所（雄勝）	新築・初期備品	21,436,184円	21,300,000円	上限	味噌作原集会所（雄勝）	新築・初期備品	20,865,546円	20,780,000円	上限	小室地区集会所（北上）	新築・初期備品	21,890,520円	21,884,000円	上限	十八成自治会集会所（牡鹿）	新築・初期備品	26,400,000円	26,393,000円	上限	災害復興住宅集会所19件	初期備品	-	9,498,540円	上限	集会所名	事業区分	事業費	補助金額	タイプ	桃浦集会所（石巻）	新築・初期備品	23,976,000円	23,976,000円	小規模タイプ	月浦集会所（石巻）	新築・初期備品	21,254,400円	21,254,400円	小規模タイプ	横川公民館（河北）	新築	28,080,000円	25,000,000円	小規模タイプ	水浜漁村センター（雄勝）	新築・初期備品	26,000,314円	25,000,000円	小規模タイプ	波板地域交流センター（雄勝）	交流活動	1,048,422円	830,760円	
集会所名	事業区分	事業費	補助金額	割合																																																																																																							
竹浜集会所（石巻）	新築・初期備品	14,150,000円	14,150,000円	全額																																																																																																							
鹿立浜集会所（石巻）	新築・初期備品	18,179,000円	18,179,000円	全額																																																																																																							
大門町三・四丁目集会所（石巻）	新築・初期備品	24,378,168円	24,377,000円	上限																																																																																																							
開北会館（石巻）	改修	2,052,000円	2,000,000円	上限																																																																																																							
沢田会館（石巻）	改修	1,550,000円	1,550,000円	全額																																																																																																							
熊沢コミュニティセンター（雄勝）	新築・初期備品	22,521,564円	22,191,000円	上限																																																																																																							
大浜親和会館（雄勝）	新築・初期備品	21,381,840円	19,747,000円	上限																																																																																																							
小島集会所（雄勝）	新築・初期備品	20,396,880円	20,382,000円	上限																																																																																																							
明神集会所（雄勝）	新築・初期備品	21,436,184円	21,300,000円	上限																																																																																																							
味噌作原集会所（雄勝）	新築・初期備品	20,865,546円	20,780,000円	上限																																																																																																							
小室地区集会所（北上）	新築・初期備品	21,890,520円	21,884,000円	上限																																																																																																							
十八成自治会集会所（牡鹿）	新築・初期備品	26,400,000円	26,393,000円	上限																																																																																																							
災害復興住宅集会所19件	初期備品	-	9,498,540円	上限																																																																																																							
集会所名	事業区分	事業費	補助金額	タイプ																																																																																																							
桃浦集会所（石巻）	新築・初期備品	23,976,000円	23,976,000円	小規模タイプ																																																																																																							
月浦集会所（石巻）	新築・初期備品	21,254,400円	21,254,400円	小規模タイプ																																																																																																							
横川公民館（河北）	新築	28,080,000円	25,000,000円	小規模タイプ																																																																																																							
水浜漁村センター（雄勝）	新築・初期備品	26,000,314円	25,000,000円	小規模タイプ																																																																																																							
波板地域交流センター（雄勝）	交流活動	1,048,422円	830,760円																																																																																																								
成果に係る評価	地区集会所は、被災により失われたコミュニティの再生や新たな構築のための拠点施設として重要な役割を果たしており、市民と行政の協働のまちづくりの推進に大きく寄与することから、今後も集会所の建設・整備事業に対して支援を継続していく必要がある。																																																																																																										
(単位：円)																																																																																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																					
	320,791,000	318,492,700	96,061,160		102,852,540	119,579,000																																																																																																					

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費				(2)	地域の方でみんなで守る
	27 目	東日本大震災関係費				(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ	P117		中 事 業	地域コミュニティ再生関係費			
事業コード	001-201-002-00929		事 業 名	地域づくりコーディネート事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容	住民自治組織の推薦を受けたNPO等の市民公益活動団体が、コミュニティの再生・強化を推進するためにを行う住民主体による地域づくりやコミュニケーションづくりを支援する事業に対し補助する。						
取 組 実 績	H27年度 地域づくりコーディネート事業 補助金交付一覧						
	採択団体名		事業名称		助成額		
	1	一般社団法人BIGUP石巻	包括的な地域づくりモデル事業		2,500,000円		
	2	一般社団法人キャンパス東北	助け合い共に育む共生サポート事業		2,431,439円		
	3	上釜を愛する会設立準備委員会	住民主体の地域づくりサポート事業		2,441,100円		
	4	石巻仮設住宅自治連合推進会	新蛇田復興公営住宅におけるコミュニティ融和コーディネート事業		1,920,183円		
	5	WE ARE ONE 北上	新古里づくり事業Ⅱ		2,464,465円		
	6	NPO法人ばんぶきんふれあい会	住民主体型コミュニティ形成コーディネート事業		2,000,000円		
7	一般社団法人ISHINOMAKI2.0	衰退したコミュニティの再構築事業		2,000,000円			
		計		15,757,187円			
成 果	1 一般社団法人BIGUP石巻（釜・大街道地区）被災した地域に植栽活動を行う景観改善支援や、子どもの居場所・遊び場づくり、及び地域情報誌の発行事業を行うこと等を通じ、地域住民同士の繋がりや理解が深まった。						
	2 一般社団法人キャンパス東北（菜田、黄金浜地区）復興公営住宅集会所の活用方法や運営方法等のサポートを行い、既存住民と新規住民とのつながりを生み出す活動を行った結果、顔の見える関係性を生み出すことができた。						
	3 上釜を愛する会設立準備委員会（上釜地区）イベントへの協力や、地域情報誌の発行・配布を通じて、住民主体の地域づくりのための話し合いの機会の設定を行い、地域づくりに主体的に関わる住民が見られるようになった。						
	4 石巻仮設住宅自治連合推進会（新蛇田地区）朝の健康体操や交流会・勉強会の開催等、復興公営住宅入居者同士の顔合わせの機会を作った結果、住民活動サークルが立ち上がりつつある状況となった。						
	5 WE ARE ONE 北上（北上地区）地域の課題について住民ワークショップを実施し、様々な世代の交流を行うことができた。また、食に関する実態調査を行い、今後の地域福祉の仕組みづくりに有用な情報を得ることができた。						
	6 ばんぶきんふれあい会（湊地区）住民主体の活動を行う人材の育成・掘り起しのため、地域課題解決のための事業を開催した結果、参加した住民から今後も地域活動に関わりたいとの意向が示されるようになった。						
	7 ISHINOMAKI2.0（筒場復興公営住宅周辺地域）ヒアリング調査の実施等により地域の課題を明確にしたことで、近隣同士のつながりが促進された。						
成果に係る評価	地域づくりコーディネート事業を実施したことで、住民主体による地域づくり・コミュニティづくりを推進することができた。 また、震災により自治会運営が休止状態の地域に集中して団体等の支援を実施したことにより、町内会活動の再開が図られたことは大きな成果である。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	16,045,000	15,757,187			15,757,187		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	()	
	1 項	総務管理費				()	
	27 目	東日本大震災関係費				()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	被災地域交通対策関係費			
事業コード			事 業 名	総合交通戦略策定事業			
目的及び事業内容	利便性の高い公共交通が充実し、高齢者も若者も観光客もみんなが公共交通で出かけられる、にぎわいあふれる元気なまちの実現を目指し、「石巻市総合計画」や「石巻市震災復興基本計画」、「石巻市都市計画マスタープラン」との整合を図り、それら計画で定める将来都市像の実現に向けて、地域公共交通のマスタープランとして「石巻市総合交通戦略」を策定する。 また、国の都市・地域総合交通戦略要綱に基づいた「都市・地域総合交通戦略」と、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づいた「地域公共交通網形成計画」の両方の機能を併せ持つ計画として策定する。						
取 組 実 績	平成26年度に開催した石巻市地域公共交通会議での意見等及び石巻市総合交通戦略策定調査（石巻市の交通の現状の整理、市民アンケート、関係者ヒアリング等）の結果に基づき、石巻市総合交通戦略について、石巻市地域公共交通会議、石巻市総合交通戦略庁内検討委員会、バス事業等連絡調整ワーキングにおいて協議し策定した。						
	1 石巻市地域公共交通会議 平成27年度は4回開催し、学識経験者、市民代表、交通関連事業者等の民間委員から、意見、アイデア、助言をいただきながら協議し、石巻市総合交通戦略の策定について承認をいただいた。						
	2 石巻市総合交通戦略庁内検討委員会 庁内の関係課長等で組織する同委員会を、平成27年度は3回開催し、石巻市総合交通戦略素案について協議・検討を行った。						
	3 バス事業等連絡調整ワーキング 学識経験者、交通事業者、市で構成し、平成27年度は4回開催、石巻市の現状の交通課題とその対応、骨格路線、交通拠点等の協議を行い、石巻市総合交通戦略の素案の作成を行った。						
成 果	4 パブリックコメント募集 平成28年1月20日から平成28年2月19日まで募集を行い32件の意見が寄せられた。						
	地域住民の移動手段確保や利便性の向上を図るとともに、復旧・復興の加速化に資することを目的として、鉄道・路線バス・住民バス・乗合タクシー等を含む多様な交通手段の市全体の方向性を示す地域公共交通のマスタープランとして総合交通戦略を平成28年3月28日に策定した。						
成果に係る評価	石巻市総合交通戦略については、地域公共交通のマスタープランとして、平成28年度から平成37年度までの10年間の計画として策定している。 今後は、石巻市総合交通戦略に基づき、バス路線の再編、交通拠点の整備に重点を置きつつ、運賃制度や利用促進について検討を行う。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	11,718,000	11,718,000	11,718,000				

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																												
	1 項	総務管理費		第 節		(5)	生活環境の整備																												
	27 目	東日本大震災関係費		()		(3)	公共交通の復旧																												
実施計画掲載ページ		P163		中 事 業	被災地域交通対策関係費																														
事業コード		002-503-001-00949	事 業 名		仙石線東北本線接続線整備事業〔復興基金〕																														
目的及び事業内容		<p>石巻仙台間を結ぶ仙石線と東北本線の接続線を整備することにより、約10分程度の時間短縮が図られ、鉄道利用者の利便性が向上するとともに、交流人口の増加が見込まれる。</p> <p>接続線の整備に当たっては、関係する宮城県、仙台市及び東松島市とともに事業主体であるJR東日本に対し、全体事業費の一部を補助することにより、接続線整備の円滑化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙石線と東北本線の接続線（延長約0.3km）を整備 ・石巻－（仙石線）－高城町－（東北本線）－仙台の直通運行により石巻仙台間の所要時間（約10分）を短縮 																																	
取組実績		<p>接続線整備に係る負担について</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 区間：東北本線松島駅～仙石線高城町駅間（0.3km） (2) 工期：平成24年度～平成27年度 (3) 仙石線・東北本線接続線整備工事に関する覚書（平成26年6月9日締結）で宮城県及び沿線3市の負担割合を決定 <ul style="list-style-type: none"> ア 宮城県と沿線3市 1：1 イ 仙台市と石巻市・東松島市 1：1 ウ 石巻市と東松島市 0.59：0.41（国勢調査人口による仙台市への通勤通学者割合） (4) 負担年度：平成26年度、平成27年度 (5) 補助率及び補助額（県及び各市合計）⇒補助対象事業費1,321,700,000円の1/3=440,567,000円 (6) 宮城県及び各市の負担額（覚書掲載のもの） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮城県</td> <td>94,000,000円</td> <td>126,567,000円</td> <td>220,567,000円</td> </tr> <tr> <td>沿線市</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 仙台市</td> <td>47,000,000円</td> <td>63,000,000円</td> <td>110,000,000円</td> </tr> <tr> <td> 石巻市</td> <td>27,730,000円</td> <td>37,170,000円</td> <td>64,900,000円</td> </tr> <tr> <td> 東松島市</td> <td>19,270,000円</td> <td>25,830,000円</td> <td>45,100,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>188,000,000円</td> <td>252,567,000円</td> <td>440,567,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(7) 石巻市補助金実績 平成26年度：27,730,000円 平成27年度：34,482,000円</p>						区分	H26	H27	合計	宮城県	94,000,000円	126,567,000円	220,567,000円	沿線市				仙台市	47,000,000円	63,000,000円	110,000,000円	石巻市	27,730,000円	37,170,000円	64,900,000円	東松島市	19,270,000円	25,830,000円	45,100,000円	合計	188,000,000円	252,567,000円	440,567,000円
区分	H26	H27	合計																																
宮城県	94,000,000円	126,567,000円	220,567,000円																																
沿線市																																			
仙台市	47,000,000円	63,000,000円	110,000,000円																																
石巻市	27,730,000円	37,170,000円	64,900,000円																																
東松島市	19,270,000円	25,830,000円	45,100,000円																																
合計	188,000,000円	252,567,000円	440,567,000円																																
成 果		宮城県、仙台市及び東松島市とともにJR東日本に対し整備事業費の一部を補助することにより、接続線整備が円滑に進み、平成27年12月17日に全事業が完了した。																																	
成果に係る評価		仙石線東北本線接続線が整備され、「仙石東北ライン」の運行が開始されたことにより、石巻仙台間の運行時間が短縮され、平成27年6月から8月までの3か月間で高城町～石巻間の利用者数は1日当たり約8,300人に達した（震災前の88%まで回復）。市民の通勤・通学の利便性が向上するだけでなく、観光客等の交流人口拡大による経済効果が図られた。																																	
（単位：円）																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																													
	34,482,000	34,482,000			34,482,000																														

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																													
	1 項	総務管理費		第 節		(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																													
	27 目	東日本大震災関係費		()		(1)	被災者への生活支援																													
実施計画掲載ページ		P151		中 事 業	被災地域交通対策関係費																															
事業コード		002-101-005-00361	事 業 名		応急仮設住宅バス運行事業																															
目的及び事業内容		<p>応急仮設住宅生活者を中心とする被災者が、日常生活において買い物や通院などに不便を来さないよう、商業施設や医療機関を巡回するバスを低廉な運賃で運行するため、運行主体に対し運行費を補助する。</p>																																		
取組実績		<p>被災者が通院、買い物など基本的な生活を維持できるよう低廉な運賃でバスを運行している運行主体に対し運行費を補助した。</p> <p>平成27年度路線別補助の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>主な経由地</th> <th>運行主体（補助対象）</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市内仮設住宅循環線</td> <td>石巻駅前、大橋、開成、日赤病院、蛇田</td> <td>㈱ミヤコーバス</td> <td>6,561,932円</td> </tr> <tr> <td>河北地区仮設住宅線</td> <td>飯野川、大森・追波川団地、上品の郷、イオン、石巻駅前</td> <td>河北地区住民バス運行協議会</td> <td>7,936,627円</td> </tr> <tr> <td>桃生地区仮設住宅線</td> <td>中津山団地、桃生総合支所、日赤病院、イオン、石巻駅前</td> <td>桃生地区運行協議会</td> <td>8,346,448円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>22,845,007円</td> </tr> </tbody> </table>						路線名	主な経由地	運行主体（補助対象）	補助金額	石巻市内仮設住宅循環線	石巻駅前、大橋、開成、日赤病院、蛇田	㈱ミヤコーバス	6,561,932円	河北地区仮設住宅線	飯野川、大森・追波川団地、上品の郷、イオン、石巻駅前	河北地区住民バス運行協議会	7,936,627円	桃生地区仮設住宅線	中津山団地、桃生総合支所、日赤病院、イオン、石巻駅前	桃生地区運行協議会	8,346,448円	合計			22,845,007円									
路線名	主な経由地	運行主体（補助対象）	補助金額																																	
石巻市内仮設住宅循環線	石巻駅前、大橋、開成、日赤病院、蛇田	㈱ミヤコーバス	6,561,932円																																	
河北地区仮設住宅線	飯野川、大森・追波川団地、上品の郷、イオン、石巻駅前	河北地区住民バス運行協議会	7,936,627円																																	
桃生地区仮設住宅線	中津山団地、桃生総合支所、日赤病院、イオン、石巻駅前	桃生地区運行協議会	8,346,448円																																	
合計			22,845,007円																																	
成 果		<p>仮設住宅入居者の減少に伴い、利用者数は減少しているものの、乗車区間、距離に関わらず一律100円という運賃の効果もあり、被災者の通院や買い物等の生活の足として定着し、被災者支援が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="2">H26</th> <th colspan="2">H27</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>便数</th> <th>利用者数</th> <th>便数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市内仮設住宅循環線</td> <td>25,296人</td> <td>1,464便</td> <td>21,563人</td> <td>1,464便</td> </tr> <tr> <td>河北地区仮設住宅線</td> <td>10,586人</td> <td>735便</td> <td>10,068人</td> <td>726便</td> </tr> <tr> <td>桃生地区仮設住宅線</td> <td>5,352人</td> <td>968便</td> <td>5,842人</td> <td>960便</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>41,234人</td> <td>3,167便</td> <td>37,473人</td> <td>3,150便</td> </tr> </tbody> </table>						路線名	H26		H27		利用者数	便数	利用者数	便数	石巻市内仮設住宅循環線	25,296人	1,464便	21,563人	1,464便	河北地区仮設住宅線	10,586人	735便	10,068人	726便	桃生地区仮設住宅線	5,352人	968便	5,842人	960便	合計	41,234人	3,167便	37,473人	3,150便
路線名	H26		H27																																	
	利用者数	便数	利用者数	便数																																
石巻市内仮設住宅循環線	25,296人	1,464便	21,563人	1,464便																																
河北地区仮設住宅線	10,586人	735便	10,068人	726便																																
桃生地区仮設住宅線	5,352人	968便	5,842人	960便																																
合計	41,234人	3,167便	37,473人	3,150便																																
成果に係る評価		被災者の移動手段が確保され、一律100円という運賃での運行により負担軽減も図られ、被災者生活支援の一助となった。今後は、仮設住宅入居者が減少していくことが予想され、仮設住宅の集約、解消等に併い廃止となる予定であり、現行の路線バス、住民バスの路線再編に含めて検討していく必要がある。																																		
（単位：円）																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																														
	22,845,007	22,845,007	22,845,007																																	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費				(1)	新たな防災体制の構築
	27 目	東日本大震災関係費				()	震災記録の継承
実施計画掲載ページ		P116	中 事 業		震災広報関係費		
事業コード		001-104-001-00301	事 業 名		震災記録収集整理事業〔復興基金〕		
目的及び事業内容		震災の記録を保存し、復興への道程をデジタルアーカイブとして後世に伝え、今後の防災事業等の一助とする。					
取 組 実 績		1 震災記録写真、動画データ等の収集・整理 2 被災体験談記録（オーラルヒストリー）編集事業 ・被災した市民の被災体験談をビデオカメラで撮影し保存した。また、収録した動画を被撮影者ごとに編集した。復興まちづくり情報交流館にて編集した動画の上映を行った。 3 震災関連資料のデジタル化 ・震災関連庁内文書のデジタル化を行った。 4 震災関連パネル製作 ・震災からの復興計画・復旧復興状況に関する写真パネルを製作した。 5 石巻市震災復興記録写真展 (1) H27.9.12（土）・13（日）石巻専修大学（ツール・ド・東北2015） (2) H27.10.4（日）～12（月・祝）河北総合センター「ビッグバン」 (3) H28.3.6（日）石巻専修大学（石巻市防災シンポジウム） 上記のほか、津波避難タワー完成報告会や各種物産展等の会場にて展示を行った。					
成 果		震災に関する情報を収集整理することにより、今後の防災減災に役立てるための資料の蓄積が図られた。 また、収集した資料を情報交流館や各種イベント等で展示することにより、市民の防災への意識の高揚及び震災の記憶の風化防止が図られた。					
成果に係る評価		今後も継続して復興過程を記録し、震災関連資料の収集・整理を行う必要がある。 また、震災の風化防止と復興状況への理解を深めるため、パネル展等を実施していく必要がある。					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	2,500,000	1,878,098			1,878,098		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	1 項	総務管理費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保
	27 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援
実施計画掲載ページ		P148	中 事 業		震災広報関係費		
事業コード		002-101-003-00357	事 業 名		市報復興号発行事業〔復興基金〕		
目的及び事業内容		東日本大震災による復旧復興の様々な情報を迅速に発信するため、市報15日号を毎月発行する。					
取 組 実 績		より多くの復旧復興関連情報を掲載した市報を毎月発行した。 説明に地図や写真等を使用し復興の状況が分かりやすいように掲載することに努めた。 また、ハード面の整備のほかコミュニティづくり等ソフト面の取り組みについても紹介する等、多角的な情報発信に努めた。 〔市報復興号発行〕 毎月15日発行、発行部数月64,000部、8ページ、フルカラー 掲載内容 ・今後の復興まちづくりに関する情報 ・復興や復旧の様子 ・復興に関するイベント ・住宅再建支援制度 ・生活再建支援制度 ・災害危険区域内の市有地の貸し付け等 ・復興公営住宅入居者募集 ・復興公営住宅への入居手続き等 ・仮設住宅退去者へのお知らせ ・防災集団移転に関するお知らせ ・災害復旧費寄附金の状況 ・災害義援金配分 ・被災者の各種相談案内 ・産業用地に関するお知らせ ・復興特区による税制優遇制度 ・中小企業復旧支援制度					
成 果		お知らせごとにアイコンを設けるなど分かりやすさに努めながら、多くの震災復興関連の情報を迅速かつ的確に発信することができた。					
成果に係る評価		被災した市民に対する生活再建情報や復興公営住宅関連情報は、生活を再建する上での確に早く伝えることが必要であることから、今後も継続して発行していく必要がある。 ただし、復興事業が進んでいることから、将来的には、期別（四半期等）の発行又は1日号に包含させた紙面づくりについて検討する必要がある。					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	14,205,000	13,996,800			13,996,800		

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す	
	1 項	総務管理費				(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保	
	27 目	東日本大震災関係費				(1)	被災者への生活支援	
実施計画掲載ページ		P149	中 事 業		震災広報関係費			
事業コード		002-101-003-00535	事 業 名		全国避難者市報等郵送事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容		東日本大震災により被災し、石巻市外への避難を余儀なくされている市民に行政情報や復興関連情報、生活再建情報を伝えるため、市報等を郵送する。						
取 組 実 績		<p>全国避難者情報システムに登録している市民や石巻市外のみなし仮設に入居している被災した市民等へ、市報1日号と15日号の発行に合わせ月2回郵送した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回平均・・・2,031通 ・郵送物・・・市報、県政だより、議会だより、社協だより、選挙チラシ ・郵送方法・・・ゆうメール 						
成 果		石巻市の情報を伝えることで、市外で生活している市民の不安要素が取り除かれた。						
成果に係る評価		被災し市外で生活している市民に再び石巻市に戻っていただくためには、行政情報や生活再建情報等を伝える必要があるため、復興事業が完了し住まいの再建の目途が立つまでは今後も市報等を継続して送付する必要がある。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	5,040,000		3,502,686				3,502,686	

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり	
	1 項	総務管理費				(1)	新たな防災体制の構築	
	27 目	東日本大震災関係費				(4)	震災記録の継承	
実施計画掲載ページ		P119	中 事 業		復興まちづくり情報交流館整備事業費			
事業コード		001-201-005-01037	事 業 名		復興まちづくり情報交流館整備事業〔復興交付金〕			
目的及び事業内容		復興のまちづくりや地域の取組に関する情報、東日本大震災の記録と記憶の発信（展示）と、被災者同士や被災者と来訪者の交流の場や懇談の場とするため、復興まちづくり情報交流館中央館に続き、北上館及び牡鹿館を整備するとともに、国土交通省の震災伝承コーナー（上品の郷内）に当市の展示物を設置した。						
取 組 実 績		<p>石巻市復興まちづくり情報交流館の整備</p> <p>北上館 所在地 石巻市北上町十三浜字丸山41番地2 建築面積 124.41㎡ 開館年月日 平成28年3月8日</p> <p>牡鹿館 所在地 石巻市鮎川浜湊川63番地 建築面積 129.42㎡ 開館年月日 平成28年3月8日</p> <p>河北展示 所在地 道の駅上品の郷「震災伝承コーナー」内 開始年月日 平成28年2月29日</p> <p>震災前の祭りの風景・産業・集落等のパネル、震災の被害状況資料等のパネル、復興事業情報等（事業内容資料）を展示している。</p>						
成 果		平成26年度に整備した復興まちづくり情報交流館中央館に続き、北上館・牡鹿館を整備し、各地区の将来のまちづくりが見え、市民が希望を持てるような、復興事業の進捗状況等の情報提供を行った。併せて、市民及び来訪者に震災の記録を広く伝えることにより、震災の風化防止、防災意識の向上が図られた。						
成果に係る評価		当市の復興は、まだ途上であり、引き続き、復興のまちづくりや地域の取組に関する情報を発信するとともに、被災者同士や被災者と来訪者の交流の場を確保する必要がある。また、東日本大震災の記録と記憶の風化の防止を図るため、今後も各館の運営を行うこととし、あわせて、雄勝館についても整備し情報発信と交流を積極的に推進して行く。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	89,646,720		87,425,000				69,940,000	17,485,000

予算科目	2 款	総務費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	総務管理費		第 節		(2)	地域の力でみんなで守る
	27 目	東日本大震災関係費		()		(1)	地域コミュニティの再生支援
実施計画掲載ページ		P116	中 事 業	東日本大震災犠牲者追悼式関係費			
事業コード		001-201-001-00303	事 業 名	東日本大震災犠牲者追悼式〔復興基金〕			
目的及び事業内容		東日本大震災の犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を捧げるとともに、夢や希望の持てる新しい石巻市としての復興、再生、発展を遂げていく決意を示すため、市主催の追悼式を開催するもの。					
取 組 実 績		<p>東日本大震災石巻市追悼式の実施</p> <p>1 日時 平成28年3月11日（金）午後2時40分～午後5時</p> <p>2 場所 河北総合センター</p> <p>3 概要</p> <p>(1) 式場に祭壇及び献花台を設置した。</p> <p>(2) 震災で犠牲となられた方々の御遺族(2,613人)に案内状を送付した。</p> <p>(3) 本庁と各総合支所（河北総合支所を除く）に祭壇及び献花台を設置し、献花を受け付けた。</p> <p>(4) 石巻合唱連盟・市民有志による追悼合唱を行った。</p> <p>(5) 国主催の追悼式の中継を、追悼式会場及び各献花場で放映した。</p> <p>(6) 河北総合センターでの追悼式の模様を各献花場に映像配信した。</p> <p>(7) 石巻駅前、各総合支所等から送迎バスを運行した。</p>					
成 果		<p>市主催の追悼式を開催することにより、震災の犠牲となられた方々に対し、哀悼の意を捧げるとともに、復興への決意を示すことができた。</p> <p>参列者</p> <p>追悼式 河北総合センター 1,100人（献花のみ250人）</p> <p>献花場 市役所4階庁議室 1,598人</p> <p>雄勝総合支所仮庁舎 228人</p> <p>遊楽館 231人</p> <p>桃生総合支所 124人</p> <p>北上保健医療センター 173人</p> <p>牡鹿保健福祉センター 200人</p> <p>計 3,654人</p> <p>送迎バス利用者 行き 75人</p> <p>帰り 79人</p>					
成果に係る評価		東日本大震災の犠牲となられた方々に哀悼の意を捧げるとともに、新しい石巻市としての復興、再生、発展を遂げていく決意を示すため、継続して本事業を実施していくこととした。					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	30,000,000	16,758,282			16,045,796	712,486	